













あなたの理想の研修先、
かならず見つかります。

いばらき医師臨床研修

茨城県医師臨床研修連絡協議会

2027年度

令和9年度向け

茨城県内の臨床研修病院総合パンフレット

CONTENTS

01 茨城県で臨床研修をお考えの皆様へ
02 茨城県医師会の支援

二次保健医療圏名

水　戸
03 水戸赤十字病院
05 筑波大学附属病院 水戸地域医療教育センター 総合病院水戸協同病院
07 水戸済生会総合病院
09 独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター
11 筑波大学附属病院 茨城県地域臨床教育センター 茨城県立中央病院

日　立
13 筑波大学附属病院 日立社会連携教育研究センター 株式会社日立製作所 日立総合病院

常陸太田 ひたちなか
15 筑波大学附属病院 ひたちなか社会連携教育研究センター 株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院

土　浦
17 総合病院 土浦協同病院
19 独立行政法人国立病院機構 霞ヶ浦医療センター

つくば
21 筑波記念病院
23 筑波大学附属病院
25 筑波メディカルセンター病院
27 筑波学園病院

取　手 竜ケ崎
29 東京医科大学茨城医療センター
31 牛久愛和総合病院
33 つくばセントラル病院
35 JA とりで総合医療センター
37 総合守谷第一病院
39 龍ケ崎済生会病院

古　河 坂　東
41 友愛記念病院
43 筑波大学附属病院 古河・坂東地域医療教育センター 茨城西南医療センター病院

45 茨城県地域医療支援センターのご紹介
48 専門医を目指す方へ（新専門医制度）

※掲載されているプログラムは2025年度時点でのプログラム内容です。2026年度には変更の可能性がありますのでご了承ください。

◆県へのアクセス ※最短時間

【電車で】
・ＪＲ常磐線（特急）
日立～東京…… ９７分
水戸～東京…… ７５分
土浦～東京…… ４８分
・つくばエクスプレス（快速）
つくば～秋葉原…… ４５分
・JR宇都宮線（快速）
古河～東京…… ６６分

【高速バスで常磐道利用】
日立～東京……161 分
水戸～東京……141 分
つくば～東京…… 71 分

【高速バスで東関東自動車道利用】
神栖～東京……105 分

【高速バスで圏央道・東北自動車道利用】
境～東京…… 90 分



水戸赤十字病院 1
筑波大学附属病院 水戸地域医療教育センター 総合病院水戸協同病院 2
水戸済生会総合病院 3
独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター 4
筑波大学附属病院 茨城県地域臨床教育センター 茨城県立中央病院 5
筑波大学附属病院 日立社会連携教育研究センター 株式会社日立製作所 日立総合病院 6
筑波大学附属病院 ひたちなか社会連携教育研究センター 株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院 7
総合病院 土浦協同病院 8
独立行政法人国立病院機構 霞ヶ浦医療センター 9
筑波記念病院 10
筑波大学附属病院 11
筑波メディカルセンター病院 12
筑波学園病院 13
東京医科大学茨城医療センター 14
牛久愛和総合病院 15
つくばセントラル病院 16
JA とりで総合医療センター 17
総合守谷第一病院 18
龍ケ崎済生会病院 19
友愛記念病院 20
筑波大学附属病院 古河・坂東地域医療教育センター 茨城西南医療センター病院 21

医師多数区域
医師少数区域
その他の区域

※2026年4月時点



茨城県内の臨床研修病院一覧

医師多数区域
医師少数区域
その他の区域

※2026年4月時点

水戸

❶ 水戸赤十字病院	〒310-0011 水戸市三の丸 3-12-48
https://mito.jrc.or.jp/	☎ 029-221-5177
❷ 筑波大学附属病院 水戸地域医療教育センター 総合病院水戸協同病院	〒310-0015 水戸市宮町 3-2-7
https://www.mitokyodo-hp.jp/	☎ 029-231-2371
❸ 水戸済生会総合病院	〒311-4198 水戸市双葉台 3-3-10
https://www.mito-saiseikai.jp/	☎ 029-254-5151
❹ 独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター	〒311-3193 茨城町桜の郷 280
https://mito.hosp.go.jp/	☎ 029-240-7711
❺ 筑波大学附属病院 茨城県地域臨床教育センター 茨城県立中央病院	〒309-1793 笠間市鯉淵 6528
https://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/	☎ 0296-77-1121

日立

❻ 筑波大学附属病院 日立社会連携教育研究センター 株式会社日立製作所 日立総合病院	〒317-0077 日立市城南町2丁目1番1号
https://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachi/	☎ 0294-23-1111

ひたちなか

❼ 筑波大学附属病院 ひたちなか社会連携教育研究センター 株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院	〒312-0057 ひたちなか市石川町20番1
https://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachinaka/index.html	☎ 029-354-6841

土浦

❽ 総合病院 土浦協同病院	〒300-0028 土浦市おおつ野 4-1-1
https://www.tkgh.jp/	☎ 029-830-3711
❾ 独立行政法人国立病院機構 霞ヶ浦医療センター	〒300-8585 土浦市下高津 2-7-14
https://kasumigaura.hosp.go.jp	☎ 029-822-5050

つくば

❿ 筑波記念病院	〒300-2622 つくば市要 1187-299
https://www.tsukuba-kinen.or.jp	☎ 029-864-1212
⓫ 筑波大学附属病院	〒305-8576 つくば市天久保 2-1-1
https://www.hosp.tsukuba.ac.jp	☎ 029-853-3516・3523
⓬ 筑波メディカルセンター病院	〒305-8558 つくば市天久保 1-3-1
https://www.tmch.or.jp/hosp/index.html	☎ 029-851-3511
⓭ 筑波学園病院	〒305-0854 つくば市上横場2573番地1
https://www.gakuen-hospital.or.jp	☎ 029-836-1355

取手・竜ケ崎

⓮ 東京医科大学茨城医療センター	〒300-0395 阿見町中央 3-20-1
https://ksm.tokyo-med.ac.jp/sotsugo/	☎ 029-887-1161
⓯ 牛久愛和総合病院	〒300-1296 牛久市猪子町 896
https://www.jojinkai.com	☎ 029-873-3111
⓰ つくばセントラル病院	〒300-1211 牛久市柏田町 1589-3
https://www.central.or.jp	☎ 029-872-1771
⓱ JA とりで総合医療センター	〒302-0022 取手市本郷 2-1-1
https://www.toride-medical.or.jp	☎ 0297-74-5551
⓲ 総合守谷第一病院	〒302-0102 守谷市松前台 1-17
https://www.moriya.daiichi.or.jp/	☎ 0297-45-5111
⓳ 龍ケ崎済生会病院	〒301-0854 龍ケ崎市中里1丁目1番
http://www.ryugasaki-hp.org	☎ 0297-63-7111

古河・坂東

⓴ 友愛記念病院	〒306-0232 古河市東牛谷 707
https://www.yuai-hosp-jp.org/	☎ 0280-97-3000
㉑ 筑波大学附属病院 古河・坂東地域医療教育センター 茨城西南医療センター病院	〒306-0433 境町 2190
https://www.seinan-mch.or.jp	☎ 0280-87-8111

茨城県保健医療部
医療局医療人材課
医師確保グループ

〒310-8555
茨城県水戸市笠原町 978-6

TEL：029-301-3191
FAX：029-301-3194
◎E-mail ： i.doctor@pref.ibaraki.lg.jp



茨城県で臨床研修をお考えの皆様へ

茨城県医師臨床研修連絡協議会会長
筑波大学附属病院 副病院長 **前野　哲博**

茨城県の令和７年の臨床研修医のマッチングは、県内21臨床研修病院のうち15病院が募集定員を満たすとともに、マッチ者数は194名と、平成16年度の制度開始時より90名以上増加しました。これは、研修医を受け入れる医療機関、大学、そして県職員が一体となって、研修環境の充実に取り組んできた努力の賜物と感謝申し上げます。

一方、本県での医師の実数は確実に増えていますが、令和６年度の人口10万人当たりの医師数は208.0人と全国平均280.9人より70人以上少なく、相変わらず47都道府県中46位です。また医師偏在指標においても43位でいずれにしても医師の希少性が高い県です。それは視点を変えてみれば人口が約281万人と全国11位である本県での研修は、若い医師たちにとっては、より多くの経験値を得られる良いフィールドであるともいえます。また、このような状況にもかかわらず、新型コロナウイルスの感染拡大期でも、医療崩壊といわれるような厳しい状態には陥ることはありませんでした。これは医療資源の少ない中で行政や医療機関の連携が効率的に機能している賜物と自負していますし、研修環境においても同様の連携が構築されています。

手前みそですが、前述のように様々な面で、茨城県では、行政である県、研究機関である大学、また実地医療機関である病院、診療所が官民一体となって連携し、より良いものを目指して絶えず努力しています。また、臨床研修に続く専門医制度についても、切れ目なく専門的な能力を修得できるように、充実した研修プログラムが用意されていますので、安心して医師としてのキャリアパスを重ねていくことができる体制も十分に整っています。

医師としての第一歩を踏み出すことになる臨床研修の２年間は、将来どの専門分野に進むとしても、医師としての基本を身につけるための極めて大事な期間になります。研修医諸君が将来を見据えた上で、臨床研修プログラムを選択しなければならないのは当然ですが、いろいろな憶測や思惑に惑わされずより良い臨床研修プログラムを選んでいただきたいと思っています。プログラムを提供する茨城県の病院側の我々自身も、皆さんの期待に十分に応えられるように、行政や地域とも緊密に連携しながら、充実した研修が提供できるよう、全力で取り組んでいく所存です。今後卒業される医学生の方には、是非茨城県での研修を一考していただきたいと思います。

茨城の豆知識

◆基礎データ

人　口	2,806千人	（全国第11位）（2024.10.1）
平　均 寿　命	男性 80.89歳 女性 86.94歳	（全国第40位） （全国第44位） （2020）
総面積	6,097.56㎢	（全国第24位）（2023.10.1）
可住地 面　積	3,888.92㎢	（全国第４位）（2023）
住宅敷 地面積	394.15㎡	（全国第１位）（2023.10.1）
製造品 出荷額	15兆67億円	（全国第8位）（2023）
農　業 産出額	4,536億円	（全国第３位）（2023）
道　路 実延長	55,395㎞	（全国第２位）（2023.3.31）
1人当たり 県民所得	3,481（千円）	（全国第3位）（2022年）

◆医療関連データ

病院数	実数	169
	人口10万人対	6.0（全国第33位、全国平均6.5）（2024.10.1）
診療所数	実数	1,762
	人口10万人対	62.8（全国第46位、全国平均85.0）（2024.10.1）
病床数（病院）	実数	29,978床
	人口10万人対	1,068.4 床（全国第39位、全国平均1,187.3）（2024.10.1）
医師数	実数	5,837人
	人口10万人対	208.0 人（全国第46位、全国平均280.9人）（2024.12.31）
受療率（入院）		802人（全国第 41 位）
（外来）		5,153 人（全国第 44位）（2023年）
一般病床利用率		69.2%（全国第 39位、全国平均 73.3%）（2024年）



移住後も気軽に都心へ行くことができます。



太平洋沿岸部特有の温暖で穏やかな気候に恵まれ、年間を通して暮らしやすいのがいばらきの特徴です。

茨城県医師会の支援

～ 5年間は会費無料の医師会に入会して会員のメリットを実感しよう！～



茨城県医師会会長
松﨑　信夫

茨城で医師の第一歩を踏み出される皆様へ

皆さん、こんにちは。茨城県医師会長の松﨑です。

今後卒業される医学生の皆様が、この茨城県で医師臨床研修プログラムを修得され、医師としての礎を築かれることは、茨城県医師会としましても大変喜ばしいことであり、将来的な茨城の医療の底上げと質の向上を構築する上でも、極めて重要であります。

茨城県には、近い将来この地で働きたいと思えるような病院、プログラム、指導医が在籍しており、日々、医師のキャリア形成を支援し、各診療科の専門医・指導医の養成や、地域の医療機関のネットワーク強化などに注力しております。

医師会は、医療現場での問題や改善点・要望の声を拾い上げ、医療政策に関する様々な提言を行っております。地域医療に従事する多くの医師同士・医療機関同士の連携を支えるネットワークの役割も果たしています。

また、医療事故に対するサポートを充実させるなど、先生方が日々の診療活動に支障なく取り組んでいただくための下支えにも力を尽くしております。

現在、**医学部卒業後5年間入会金・会費無料となる医師会加入制度**を設けております。医師会の各種研修会へのご参加（視聴）や医師会報（WEB）の閲覧のほか、茨城県医師協同組合の福利厚生制度などをご利用いただけますとともに、日本医師会へも無料でご入会いただく事ができ、様々な医師会のメリットを実感していただくことが可能です。

茨城県内の臨床研修病院で勤務される際は、茨城県医師会が皆様の研鑽や医業を支援させていただきます。医師としての第一歩を茨城の地で踏み出されますよう、皆様を心よりお待ちしております。

医師会会員のメリット

○大学医学部卒業後5年間は医師会会費が無料
○各種研修会・講演会の受講料が無料
○茨城県医師会報・会員専用ホームページ・メーリングリストがご利用可能
○茨城県医師協同組合への加入（組合員または賛助会員）で、年会費無料の常陽銀行ゴールドカードや入会金・年会費無料・8%優待の京成百貨店ロイヤルカードがご利用可能、人気の輸入車が特別価格で購入可能

■ 入会はこちらから

MAMIS Medical Association Member Information System 医師会会員情報システム

もしも医療事故が起きてしまったら
日本医師会医師賠償責任保険は会員の医療事故により民事上の紛争が起こってしまった場合に交渉や訴訟を全面的にサポート

安心できる老後のために
日本医師会年金は一生涯受け取れる年金で、会員の為の私的年金

医師資格を証明することが必要なとき
医師資格証（HPKIカード）は医師の資格を証明できる顔写真付きのICカードで、処方箋や紹介状など医療文書を電子化する場合、署名・捺印の代わりに使用可能

会員を支える安心
日本医師会が用意している様々なサポート

どこにいても大学病院並みのサービスを
日本医師会医学図書館は約11万冊以上の蔵書、日医会員は遠隔地からの利用可能、文献複写、貸出サービスも対応可能

日本医師会が認定する地域住民の健康を支えるための制度
日本医師会認定産業医・日本医師会認定スポーツ医は、日本医師会が認定する資格の中でも大切な資格

日本医師会 会員限定割引ホテル ONLINEサービス
全国28のホテル及びホテルチェーンの宿泊割引制度、一部ホテルでは臨床研修医向けの優待プラン・婚礼割引プランも！

全ての医師が仕事と育児・家庭を両立するために
日本医師会ドクターサポートセンター（ドクターバンク）が就業・復職・再研修のサポート

医師のプロフェッショナリズムを支える制度
生涯教育制度や日医かかりつけ医機能研修制度、日医Libなどの幅広いサービス

茨城県医師臨床研修連絡協議会の支援

臨床研修病院合同説明会

医学生の皆さんに情報収集の場を提供するため、県内の臨床研修病院が参加する合同説明会を開催しています。全国屈指の充実した指導体制と魅力ある研修プログラムを紹介します。



各病院の指導医や先輩研修医に個別相談ができます

指導医養成講習会

充実した臨床研修のためには指導体制の強化が不可欠です。国のガイドラインに基づいた「指導医養成講習会」を開催し、指導医の指導技術の向上を図っています。修了者は約2,400名（2026年3月現在）となっています。





01 水戸赤十字病院

病院の概要



開設	1923年6月
開設者	日本赤十字社
院長名	野澤　英雄
病床数	387床
標榜科（25科）	内科、外科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、脳神経内科、消化器外科、血管外科、脳神経外科、乳腺外科、緩和ケア内科、整形外科、形成外科、麻酔科、リウマチ科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科
医師数	68人（2025.11.1現在）
指導医数	31人（2025.11.1現在）
研修医数	9人
研修医の主な出身大学	慶應義塾大学、昭和医科大学、東京医科大学、聖マリアンナ医科大学（2025.4入職研修医の出身大学）
外来患者数	708人／日（2024年度実績）
入院患者数	216人／日（2024年度実績）
時間外・休日労働時間上限の適用水準	A水準（2026年4月現在）

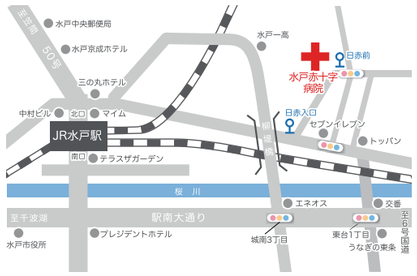
募集要項

応募資格	2027年3月国家試験合格見込者 医師免許取得済みで臨床研修未実施者
採用人数	5名（予定）
試験日程	2026年8月
選考方法	面接、小論文
処遇	■身　　分：常勤嘱託 ■給　　与：1年次　40万円、賞与　20万円 2年次　45万円、賞与　50万円 ■社会保険：有り ■住居手当：28,500円を上限に支給

応募・問合せ先

水戸赤十字病院

〒310−0011　茨城県水戸市三の丸3丁目12番48号
担当者：企画課
TEL：029−221−5177
FAX：029−227−0819
E-mail：kikaku@mito.jrc.or.jp
URL：https://mito.jrc.or.jp



■JR水戸駅北口
・徒歩15分
・茨城交通バス
〔日赤病院〕行（直行）⇒日赤病院下車
〔日赤・城東・若宮団地〕行⇒日赤病院下車

■大洗・鉾田方面
・茨城交通バス
〔大洗〕〔鉾田〕行⇒日赤入口下車徒歩3分

病院見学対応状況

■見学時間…随時（平日）
■対象…全学年
■宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
■問合せ先…担当者：企画課
TEL：029-221-5177（内線3154）
E-mail：kikaku@mito.jrc.or.jp

育児支援等

妊娠・出産・育児のための支援制度等

■育児短時間制度
■院内保育所の設置
（月〜金　7:30〜19:00(22:00まで延長可)）
（0歳〜6歳まで）
■産前産後休暇、育児休業
■子の看護休暇（年間5日間）　■結婚休暇（連続5日間）
■出産祝金　■介護休暇（年間5日間）
■時間外勤務、深夜勤務の制限及び深夜勤務の免除

研修プログラムの特色

指導医とマンツーマンで治療を進める実践的な研修により、将来の専門性にかかわらず、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に対応できるプライマリ・ケアの基本的診療を身につけることができます。

必修診療科をまわること、２年次に地域医療研修を行うこと以外は、可能な限り希望に沿った研修を行えます。

また、より充実した研修を実施できるよう、県内外の病院と連携しています。

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内　科						外　科			救　急		
2年次	地域医療	産婦人科	小児科	精神科	選　択　科							



選択科：内科［虎の門病院分院（神奈川県）も選択可］、小児科［県立こども病院も選択可］、外科、救急科［水戸済生会総合病院（三次救急）も選択可］、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、麻酔科、精神科［栗田病院、石崎病院］、総合診療科［総合病院水戸協同病院］、地域医療［いばらき診療所、城南病院、田中医院（北海道）］、保健・医療行政［中央保健所、水戸市保健所、介護老人保健施設みがわ、茨城県赤十字血液センター］

専門研修の募集について

当院では、下記の診療科で専門研修連携施設としてプログラムに参加しております。

診療科	基幹施設
内科	水戸済生会総合病院、水戸医療センター、東邦大学
外科	慶應義塾大学病院、東海大学医学部付属病院、東京医科大学八王子医療センター、筑波大学附属病院、藤田医科大学病院
整形外科	筑波大学附属病院、水戸協同病院
形成外科	筑波大学附属病院
脳神経外科	筑波大学附属病院（※関連施設）
皮膚科	筑波大学附属病院
泌尿器科	東邦大学病院医療センター大森病院
産婦人科	昭和医科大学病院、筑波大学附属病院、昭和医科大学横浜市北部病院
眼科	筑波大学附属病院
麻酔科	太田西ノ内病院
リハビリテーション科	筑波大学附属病院

研修・認定施設一覧

・日本外科学会外科専門医制度　修練施設
・日本整形外科学会専門医制度　研修施設
・日本皮膚科学会認定専門医　研修施設
・日本泌尿器科学会専門医教育施設拠点教育施設
・日本眼科学会専門医制度　研修施設
・日本麻酔科学会　麻酔科認定病院
・日本リハビリテーション医学会研修施設
・日本呼吸器内視鏡学会　関連認定施設
・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
・日本神経学会専門医制度　教育関連施設
・日本消化器外科学会　専門医修練施設
・日本大腸肛門病学会　認定施設
・日本乳癌学会 認定施設
・日本人間ドック学会暫定研修施設
・日本周産期・新生児医学会周産期（母体・胎児）専門医　指定認定施設
・日本ペインクリニック学会　指定研修施設
・日本臨床細胞学会　認定施設
・日本超音波医学会　研修施設
・日本がん治療認定医機構　認定研修施設
・日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
・大腸CT検査技術認定施設
・日本腎臓学会　認定教育施設
・日本婦人科腫瘍学会　指定修練施設
・日本女性医学学会　認定研修施設

病院からメッセージ



プログラム責任者
中村　太一

当院はJR水戸駅から徒歩圏内にある公的病院で中核病院の一つです。開院以来100年を超える歴史を有しています。全国に90ある赤十字病院の一つであり、地域の中核病院としてだけではなく、災害医療など赤十字の使命に基づく役割も担っています。災害救護訓練への参加など、研修医もその役割の一つに触れる機会があります。

また、日本赤十字社は近年、研修医教育にも力を入れており、当院の研修医も赤十字医学会総会への参加、他赤十字病院研修医との交流などにも積極的に取り組んでいます。Webセミナーも豊富に実施しています。

研修医数は比較的少ないため、多くの症例・手技を経験できるなど、実践的であることが当院の研修プログラムの特長の一つです。ぜひ、生き生きとした研修医の現場を見学にいらしてください。



研修医
山出　彩加

当院は実践型の研修が最大の特徴だと考えております。内科外科を問わず研修医が主体的に病棟管理を行い、初診から密に治療に携わります。意欲次第で手技や執刀の経験を積むことができ、様々な診療科の先生方から手厚いフィードバックもあるため、充実した研修を行うことができます。研修医同士の仲は良く、空いた時間で日々の診療や救外当直での経験を共有し、お互いの勉強に繋げています。災害医療研修や院外活動（サークル、スポーツ大会など）で寝食を共にする機会もあるため、コメディカルの方々との距離も近く、診療を行う上での相談や助言をしていただきやすい環境です。皆様もぜひ一度見学にお越しいただき、当院での研修の魅力を体感してください。



02 総合病院水戸協同病院

筑波大学附属病院　水戸地域医療教育センター

病院の概要



開設	1941年6月
開設者	茨城県厚生農業協同組合連合会
院長名	秋月　浩光
病床数	324床
標榜科（29科）	内科、呼吸器内科、消化器内科、 内分泌代謝・糖尿病内科、循環器内科、腎臓内科、 リウマチ科、神経内科、感染症内科、血液内科、 外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、 小児外科、形成外科、脳神経外科、整形外科、 皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、 耳鼻咽喉・頭頸部外科、放射線科、麻酔科、 リハビリテーション科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科
医師数	116人
指導医数	32人
研修医数	51名（臨床研修医27名／専攻医24名）
研修医の主な出身大学	宮崎大学、帝京大学、筑波大学、大分大学、 弘前大学、旭川医科大学、東京科学大学、 香川大学、山梨大学、東北大学、愛知医科大学、 東京大学、群馬大学、東京医科大学、 カレル大学、順天堂大学
外来患者数	606人／日
入院患者数	240人／日
時間外・休日労働時間上限の適用水準	A水準（2026年4月現在）

募集要項

応募資格	医師免許取得者（2027年第121回医師国家試験合格見込者） 但し、すでに他の病院等で臨床研修または これに準じる診療業務を行ったことがない者
採用人数	10名（予定）
試験日程	2026年8月18日、27日（予定）
選考方法	面接、小論文　HPにてご確認下さい
処遇	■身　　分：常勤職員 ■給　　与：1年次基本給30万円　その他諸手当等を含む年収約600万円 2年次基本給35万円　その他諸手当等を含む年収約700万円 ■社会保険：有り ■宿　　舎：有り（住宅手当）50,000円 ■そ の 他：専門医プログラム研修に進むことも可能 （専門医プログラム海外研修可能）

応募・問合せ先

筑波大学附属病院　水戸地域医療教育センター

総合病院水戸協同病院

〒310-0015　茨城県水戸市宮町３丁目２番７号
担当者：研修研究支援室　福家 聡美
ＴＥＬ：０２９－２３１－２３７１
ＦＡＸ：０２９－２２１－５１３７
E-mail：residency@mitokyodo-hp.jp
ＵＲＬ：https://www.mitokyodo-hp.jp/



東京・上野・品川駅から直通特急約１時間
■ＪＲ　・ＪＲ常磐線水戸駅下車
・ＪＲ水郡線水戸駅下車
大工町方面バス南町２丁目下車
■車　・常磐道～北関東自動車道
茨城町東I.C、又は水戸南I.Cより25分

病院見学対応状況

■見学時間…随時（平日のみ、年末年始、年度末、年度始を除く）
■対象…4、5、6年
■宿泊…補助支給 条件については問い合わせ下さい
■問い合わせ先
担当者：研修研究支援室　福家 聡美
TEL：029-231-2371
E-mail：residency@mitokyodo-hp.jp

育児支援等

当院医師の出産休暇取得実績（2009年4月～2025年12月）：31名
同育児休暇取得実績（2009年4月～2025年12月）：29名
（うち男性医師13名）

医局内搾乳スペースあり
保育施設（夜間保育月６回）あり
ファミリーサポート委員会設置

水戸ファミリーサポートセンターと提携し病児保育ルームを作り、利用しやすい環境を整えています。


保育ルーム

研修プログラムの特色

県庁所在地である、水戸市中心部に位置する第一線の臨床病院において筑波大学教官の直接指導を受けることで、実地的研修と卒後医学教育の両面を同時に修得可能な環境を提供致します。特に臨床研修において幅広い総合診療能力を獲得することを重視したプログラム内容となっています。

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科			救急			内科			外科		
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	精神科	産婦	整形		皮膚	救急		小児		地域医療	内科外来	内科

選択科：内科、外科、麻酔科、産婦人科、小児科、整形外科、脳神経外科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、眼科、総合診療科、救急科、放射線科、皮膚科　等

専門研修の募集について

募集診療科	選考方法
内科、整形外科	ホームページにてご確認下さい

研修・認定施設一覧

・厚生労働省臨床研修病院指定施設（管理型）
・筑波大学附属病院臨床研修協力型病院
・専門研修プログラム内科基幹施設
・日本脳ドック学会認定施設
・日本がん治療認定医機構認定研修施設
・日本臨床腫瘍学会認定研修施設（特別連携施設）
・日本乳癌学会専門医関連施設
・日本内科学会認定教育施設
・日本病院総合診療医学会認定施設
・日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能専門医修練施設B
・日本消化器内視鏡学会指導施設
・日本消化器病学会専門医制度 認定施設
・日本消化器外科学会専門医修練施設
・日本胆道学会指導施設
・日本膵臓学会認定指導施設
・日本呼吸器学会認定施設
・呼吸器外科専門医認定機構基幹病院（筑波大学附属病院）関連施設
・日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医制度関連施設
・日本呼吸器外科学会専門研修連携施設
・日本透析医学会 筑波大学附属病院教育関連施設
・日本内分泌学会認定教育施設
・日本血液学会認定専門研修認定施設
・日本糖尿病学会認定教育施設
・日本動脈硬化学会認定施設
・日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
・日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設
・日本腎臓学会認定教育施設
・日本リウマチ学会認定教育施設
・日本神経学会専門医制度教育関連施設
・日本外科学会専門医制度修練施設
・日本脳卒中学会専門医認定制度 研修教育施設
・日本頭痛学会認定教育施設
・日本脳神経外科学会 専門研修プログラム 連携施設
・日本脳卒中学会認定研修教育施設
・日本脳ドック学会認定施設
・日本脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設
・日本手外科学会 手外科認定研修施設
・日本整形外科学会専門医制度研修施設
・日本リハビリテーション医学会研修施設
・日本皮膚科学会認定専門医研修施設
・日本眼科学会専門医制度研修施設
・日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
・日本病理学会研修登録施設

病院からメッセージ



病院長
秋月　浩光

当院の最大の特徴は、大学病院と地域の第一線病院の特性を併せ持つ診療、教育、研究を行っていることです。さらに当院は、総合診療科チームと多くの臓器別専門科とが診療科の垣根を取り払い、共同で患者さまを受け持たせていただくという、全国的にもほとんど例のない「総合診療体制」を確立し、全内科系疾患と救急疾患に対応して参りました。また、当院は外科、運動器、皮膚、形成、眼科、耳鼻科など外科系の診療も充実しており、院内随所、または全員参加での議論やレクチャーが展開されています。

この教育体制のもとで幅広い診療能力を備えた多くの医師を育成し輩出して参りました。みなさま是非一度見学にいらしてください。



研修医
柴田　愛香

当院は総合診療を基盤とした診療体制に特色があり、充実した総合診療科研修を通して1人の患者さんを多角的な視点から診る力を養える点に魅力があります。

また、救急外来は、どのような症例でも初期対応から入院の引き継ぎまで臨床研修医が主体となって行い、指導医の先生からその場でフィードバックを受けられる体制です。

将来専攻する科に関わらず臨床医としての基盤を築ける環境だと感じ、当院を選択しました。

水戸駅から徒歩10分で、美味しいご飯屋さんも充実しています。是非一度見学にいらしてください。



03 水戸済生会総合病院

病院の概要



開設	1943年6月
開設者	社会福祉法人恩賜財団済生会支部茨城県済生会
院長名	生澤　義輔
病床数	415床
標榜科（34科）	内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、美容外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、放射線科、救急科、循環器内科、糖尿病代謝内科、血液内科、病理診断科、ペインクリニック科、乳腺外科、消化器外科、緩和ケア科、腎臓内科、内分泌内科、リウマチ科
医師数	105人
指導医数	48人
研修医数	20人
研修医の主な出身大学	筑波大学、新潟大学、杏林大学、秋田大学、東海大学、島根大学、旭川医科大学、香川大学、長崎大学、マサリク大学　等
外来患者数	817.3人／日
入院患者数	322.7人／日
時間外・休日労働時間上限の適用水準	A水準（2026年4月現在）

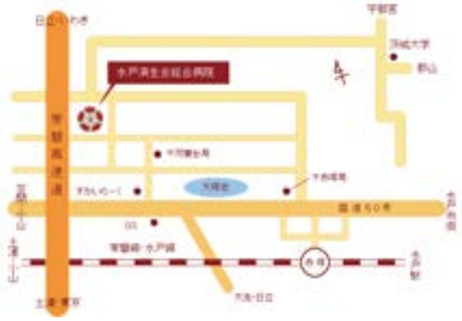
募集要項

応募資格	2027年3月国家試験合格見込者
採用人数	10名（予定）
試験日程	2026年8月に予定
選考方法	面接、小論文（エッセイ）
処遇	■身　　分：常勤医師 ■給　　与：1年次基本給321,900円　その他諸手当等を含む年収約446万円 時間外勤務手当（日当直含む）は別途支給 2年次基本給336,000円　その他諸手当等を含む年収約505万円 時間外勤務手当（日当直含む）は別途支給 ■社会保険：有り ■宿　　舎：有り（住宅手当30,000円） ■そ の 他：
病院見学	随時受入可（事前連絡必要）

応募・問合せ先

水戸済生会総合病院

〒311-4198　茨城県水戸市双葉台3－3－10
担当者：臨床研修センター　平根・廣木
ＴＥＬ：０２９－２５４－５１５１
ＦＡＸ：０２９－２５４－９０９９
E-mail：resident@mito-saisei.jp
ＵＲＬ：https://www.mito-saiseikai.jp/



■JR水戸駅、赤塚駅経由で双葉台３丁目（水戸済生会総合病院）行のバスが運行しています。バス利用の場合、水戸駅から約40分、赤塚駅より約15分です。
■タクシー利用の場合、赤塚駅より約10分、水戸駅より約25分です。

病院見学対応状況

■見学時間…随時（平日8:45～17:00）
■対象…全学年
■宿泊…院内施設に宿泊可能（無料）
■問い合わせ先
担当者：臨床研修センター　平根・廣木
TEL：029-254-5151
E-mail：resident@mito-saisei.jp
URL：https://recruit.mito-saiseikai.jp/entry

育児支援等

臨床研修医の妊娠・出産について勤務体制を整えています。保育園も完備しています。


なでしこ保育園

研修プログラムの特色

・救命センターではドクターカー、ドクターヘリの運行により多種多様の救急症例（一次～二次～三次まで）を経験できます。
・周産期救急では隣接の県立こども病院との連携で切迫早産や多胎妊娠等異常分娩も多数経験できます。
・開業医と共同主治医となる開放型病棟では、共同診療、検討会、CPC などを通し病診連携と生涯学習のあり方等を体験できます。
・緩和ケア病棟ではその人らしさや、人の尊厳を見つめ直す機会を得ることができます。
・指導医は、医療教育にとても熱心です。地域との協力でセミナーや検討会等の訓練の場が豊富にあります。

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内　　科						救急科			外科	小児科	産婦人科
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	精神科	地域医療	選　択　科									

必修科：内科（24週）、救急科（12週）、外科（4～8週）、小児科（4～8週）、産婦人科（4～8週）、精神科（4～8週）、地域医療（4～8週）、外来研修（4週以上・並行研修）
選択科：院内および院外協力病院・施設での自由選択研修［内科、救急科、外科、小児科、産婦人科、麻酔科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科・呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、病理科、放射線科、精神科、地域保健、地域医療］

専門研修の募集について

当院では、内科は基幹型で、それ以外の診療科は筑波大学などを基幹施設とするプログラムの連携施設として専門医研修を行うことができます。

当院の内科専門研修プログラムは、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、総合内科があり、さらに膠原病内科、脳神経内科、血液内科も増えて、経験症例の確保に困ることはなくなりました。

募集診療科	選考方法
内　　科：基幹施設 外　　科：連携施設（筑波大学、新潟大学） 小 児 科：連携施設（茨城県立こども病院） 産婦人科：連携施設（筑波大学） 皮 膚 科：連携施設（筑波大学） 眼　　科：連携施設（筑波大学） 泌尿器科：連携施設（筑波大学） 整形外科：連携施設（筑波大学、新潟大学） 脳 外 科：連携施設（筑波大学） 形成外科：連携施設（筑波大学） 救 急 科：連携施設 （筑波大学、筑波メディカルセンター病院）	書類選考および面接

研修・認定施設一覧

・日本内科学会教育関連病院
・日本循環器学会認定研修施設
・日本血液学会認定研修施設
・日本臨床腫瘍学会認定施設
・日本外科学会専門医制度修練施設
・日本整形外科学会認定研修施設
・日本脳神経外科学会認定医修練施設
・日本胸部外科学会指定施設
・日本消化器外科学会専門医施設認定病院
・日本産婦人科学会認定制度卒後研修施設
・日本泌尿器科学会専門医教育施設
・日本腎臓学会研修施設
・日本消化器病学会認定研修施設
・日本糖尿病学会認定教育施設
・日本麻酔科学会麻酔専門医認定病院
・日本形成外科学会認定医研修施設
・日本ペインクリニック学会指定研修施設
・日本眼科学会専門医制度研修認定施設
・日本病理学会認定病院
・日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設
・日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
・日本皮膚科学会認定専門医研修施設
・臨床研修指定病院
・外国医師臨床修練指定施設
・日本がん治療認定医機構認定研修病院
・日本消化器内視鏡学会認定研修施設
・日本周産期・新生児専門医研修施設
・日本心血管インターベンション学会認定研修施設
・不整脈学会専門医研修施設
・日本高血圧学会専門医認定施設
・日本呼吸器学会認定施設
・心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
・呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設

病院からメッセージ



臨床研修センター長（循環器内科）
研修責任者
千葉　義郎

臨床研修の2年間は医学生の時とは異なり、「自分の興味や関心が何なのか？」「自分の医師としての役割は何なのか？」を真剣に探る時期と言ってよいのではないかと思います。

当院は救急から緩和医療、小児科、周産期と幅広くバランスのとれた医療を提供しています。また基幹型の内科専門研修プログラムを有しており、幅広い経験を通して自分の適性を見極め、1日も早く独り立ちしたい、臨床の現場でバリバリ活躍したい、と思っているあなたに絶好のチャンスを提供できる病院です。



研修医
寺島　昂誼

当院の研修の特徴は、上級医による指導と実践の機会がバランスよく充実している点です。手技の機会が多いのは勿論、病棟管理や外来研修にも力を入れており、学習した内容を臨床に活かす場が多いです。上級医からのフィードバックも充実しており、日々の業務と振り返りを通して成長を実感できる環境です。

また、病院の雰囲気が非常に良いことも魅力の一つです。多職種の仲もよく、笑顔の絶えない研修です。院内で有志のスポーツ大会もあり、交流の機会にも恵まれています。研修医同士の仲も年次を問わず非常に良く、ＢＢＱやドライブ等和気あいあいとしています。是非、当院へ一度見学にいらして雰囲気の良さを感じて頂ければと思います。



04 水戸医療センター

独立行政法人国立病院機構

病院の概要

開設	2004 年４月１日
開設者	独立行政法人国立病院機構
院長名	米野　琢哉
病床数	500 床
標榜科（34 科）	内科、精神科、心療内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、血液内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、臓器移植外科、内視鏡外科、乳腺外科、消化器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、救急科、麻酔科、病理診断科、腎臓内科、緩和ケア内科
医師数	95人（2025.12.1現在）
指導医数	42人（2025.12.1現在）
研修医の主な出身大学	筑波大学、滋賀医科大学、東京医科大学、山形大学、富山大学、東北医科薬科大学、獨協医科大学、金沢大学
外来患者数	667.3人／日（2025.4～11実績）
入院患者数	360.0人／日（2025.4～11実績）
時間外・休日労働時間上限の適用水準	A水準（2026年4月現在）



募集要項

応募資格	2027年3月国家試験合格見込者
採用人数	8 名（予定）
試験日程	2026年7月～8月（予定）
選考方法	面接および適性試験
処遇	■ 身　　分：国立病院機構期間職員 ■ 給　　与：1年次基本給425,800円 その他諸手当等を含む年収約675万円 （時間外勤務手当は別途支給） 2年次基本給447,200円 その他諸手当等を含む年収約694万円 （時間外勤務手当は別途支給） ■ 社会保険：有り ■ 宿　　舎：研修医宿舎（単身用・世帯用） ■ そ の 他：健康診断（年２回）

応募・問合せ先

独立行政法人国立病院機構
水戸医療センター

〒311-3193　茨城県東茨城郡茨城町桜の郷 280 番地
担当者：管理課庶務係
200-sy01@mail.hosp.go.jp
教育研修部長　小泉　智三
TEL：029−240−7711
FAX：029−240−7788
URL：https://mito.hosp.go.jp/



病院見学対応状況

■ 見学時間…随時（平日）
■ 対象…５～６年生
■ 宿泊…可能（無料）　院内施設に宿泊可能
■ 問い合わせ先…担当者：教育研修部　事務担当
TEL：029-240-7711
E-mail：200-mmc.kensyu@mail.hosp.go.jp

育児支援等

当院では、産前・産後休暇、生理休暇、育児休業・育児短時間休業、育児時間制度等があり、仕事と子育ての両立に取り組んでいます。また、セクハラ・パワハラに対しては相談窓口を設けて対応しております。

研修プログラムの特色

将来の専門性にかかわらず、日常生活で頻繁に遭遇する疾患や病態に適切に対応できるようにするため、診療科毎の垣根がない総合診療施設としての機能を活用して、社会の枠組みの中で医療に携わるチームの一員としての見識を持ち、患者の多様なニーズに対して全人的な対応のできる、幅広い知識と応用力と技能および態度を身につける。BLS講習、緩和ケア講習の受講は必須であり、病理カンファレンス（CPC）も年間10例以上開催されている。医師の働き方改革に則り無理なく研修している。

研修スケジュール例（個人毎に作成します）

１年次	内科（24週） 一般外来並行研修20日以上				救急部門 12週	外科 4週	精神科 4週	選択科 8週
２年次	地域医療 4週	産婦人科 4週	小児科 4週	選択科（調整週含む） 40週				

内科系志望のローテーション例

１年次	内科（32週） 一般外来並行研修20日以上				救急部門 12週	外科 4週	選択科 4週
２年次	地域医療 4週	産婦人科 4週	小児科 4週	精神科 4週	選択科（調整週含む） 36週		

外科系志望のローテーション例

１年次	内科（24週） 一般外来並行研修20日以上				救急部門 12週	麻酔科 4週	外科 8週	選択科 4週
２年次	地域医療 4週	産婦人科 4週	精神科 4週	小児科 4週	選択科（調整週含む） 36週			

選択科：内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、血液内科、神経内科、精神科、腎臓内科、小児科、放射線科、外科、脳神経外科、形成外科、心臓血管外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、麻酔科、病理（当院または協力病院）






専門研修の募集について

応募期間、プログラム登録等については日本専門医機構の HP を確認してください。
当院への応募書類提出と合わせて各基本領域学会への ID 登録を行ってください。

募集診療科	選考方法
内科、外科	書類選考および面接

研修・認定施設一覧

・日本専門医機構内科専門研修プログラム基幹病院
・日本外科学会専門医制度修練施設
・日本救急医学会専門医指定施設
・日本精神神経学会精神科専門医研修施設
・日本がん治療認定医研修施設
他多数　当院ホームページを参照ください。

病院からメッセージ



研修責任者
小泉 智三 教育研修部長
（専門：循環器内科）

当院では三次救命救急センターを備えており、内科系、外科系ともに同センターに対応しております。また、がん拠点病院でもあり、内科と外科のバランスが良くとれています。スタッフには多くの専門医を擁し、高い専門性と実践性に基づいた臨床研修プログラムが用意されており、やる気のある研修医には魅力的な病院であると自負しております。また、将来を見据えた選択性と自由度の高さは当院の臨床研修プログラムの特徴の一つであり、雰囲気も良く楽しい研修をする大きな要素と考えております。多くの方の応募をお待ちしています。



研修医
片桐 駿

当院では水戸医療圏の三次救急病院として、高度かつ迅速な対応を求められる救急疾患からcommon diseaseまで、幅広い症例を経験することが可能です。また1年目からドクターヘリ、ドクターカーに同乗することができるのも大きな特徴です。手技や処置などの実践的な練習の場や、上級医の先生によるレクチャーなども定期的に開催されており、研修医同士で日々切磋琢磨する環境が整っています。2年目には多くの選択期間が設けられており、自身の希望進路に合わせて柔軟なプログラムを組めることも魅力の一つです。自分のやりたい事、学びたい事がきっと見つかる、そんな病院です。ぜひ一度見学に来てください。お待ちしております。



05 茨城県立中央病院

筑波大学附属病院 茨城県地域臨床教育センター

病院の概要

開設	1956年1月
開設者	茨城県
院長名	島居　徹
病床数	500 床（一般475 床、結核25 床）
標榜科（36 科）	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、血液内科、腎臓内科、内分泌・糖尿病内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、循環器外科、血管外科、心臓血管外科、乳腺外科、整形外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、病理診断科、脳神経外科、麻酔科、精神科、リウマチ科、歯科口腔外科
医師数	162人
指導医数	81人
研修医数	23人
研修医の主な出身大学	自治医科大学、筑波大学、東京大学、秋田大学、旭川医科大学、弘前大学、千葉大学、東京科学大学、富山大学、山梨大学、山口大学、香川大学、愛媛大学、福島県立医科大学、東京医科大学、岩手医科大学、獨協医科大学、杏林大学、帝京大学　ほか
外来患者数	888人／日
入院患者数	350人／日
時間外・休日労働時間上限の適用水準	A水準（2026年4月現在）



募集要項

応募資格	・2027年第121回医師国家試験に合格見込みの方 ・既に医籍登録され臨床研修を未実施の方。
採用人数	10名（予定）＋自治医科大卒
試験日程	当院のホームページ等でご確認ください。 http://www.i-kenshu.jp/
選考方法	面接試験
処遇	■身　　分：茨城県病院局会計年度任用職員 ■給　　与：1年次基本給349,400円 2年次基本給377,200円 ■社会保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険 ■宿　　舎：民間アパートを借り上げて貸与 （茨城県病院局代用公舎制度）一部本人負担あり ■そ の 他：病院群内他施設での研修中は、当該施設の身分となることがあります

病院見学対応状況

■ 見学時間…随時（平日）
■ 対象…全学年
■ 宿泊…応相談
■ 問合せ先…担当者：医師教育研修室
井川、新井、鶴井
TEL：0296-77-1121（代表）
E-mail：kenshu@chubyoin.pref.ibaraki.jp

応募・問合せ先

筑波大学附属病院 茨城県地域臨床教育センター
茨城県立中央病院
医師教育研修室　鴻巣・田口
〒309-1793　茨城県笠間市鯉淵６５２８
ＴＥＬ：０２９６－７７－１１２１
ＦＡＸ：０２９６－７７－２８８６
E-mail：kenshu@chubyoin.pref.ibaraki.jp
ＵＲＬ：https://www.i-kenshu.jp/



■ＪＲ常磐線　■ＪＲ水戸線　友部駅より　徒歩　20 分
バス　5 分
タクシー　5 分
■北関東自動車道　友部 IC より　約 15 分
■常磐自動車道　水戸 IC より　約 20 分
友部SAスマートIC（ETC専用）より約10分

育児支援等

研修医の宿日直免除、産休・育休の取得の制度もしっかり運用しており、２４時間保育が可能な院内保育園も活用して、男女問わず、充実した臨床研修生活を送ることができます。他院に先駆け、男性研修医の育児休暇取得の実績もあります。

また、女性医師の働きやすさを意識した取り組みも進んでおり、男女別の仮眠室やシャワールームの新設もそのひとつです。


ひまわり保育園（24 時間保育可）

研修プログラムの特色

1　研修医の意志を尊重し、プログラムの自由度を最大限高めることを基本として、研修意欲を引き出す内容としています。
2　各研修分野間の垣根が無く、また、各分野とも優れた専門医が在籍し「将来を見据えた」指導を行える体制が整っています。
3　自治医科大学、筑波大学、東京大学から毎年研修医を受け入れ、多様性のある、オープンな雰囲気のなか臨床研修に臨めます。

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科（6）						外科（2）		※			
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	地域医療・一般外来		精神科（1）	※		※	※		※			

※予め希望を調査のうえ，次から決定します。
必修科目（救急分野8週、小児科4週又は8週、産婦人科4週），自由選択科目（必修科目を含む院内外の研修科目。詳細は研修プログラムを参照）
ただし，１年次は院内研修のみとし，２年次の選択科目での院外研修は8週まで希望することが出来ます。

専門研修の募集について

現在、内科及び外科の基幹施設に認定され、専攻医を募集しているほか、他基幹施設の連携施設としても専攻医を受け入れています。
詳細は当院のホームページをご確認ください。

研修・認定施設一覧

・専門研修関係（2018年度以降研修開始）
＜基幹施設＞
内科専門研修プログラム基幹施設
外科専門研修プログラム基幹施設
＜連携施設＞
内科専門研修プログラム連携施設
（基幹：水戸協同病院、水戸済生会総合病院、水戸医療センター、ひたちなか総合病院、筑波大学附属病院、東京女子医科大学病院、東京医科大学茨城医療センター、日本赤十字医療センター）
外科専門研修プログラム連携施設
（基幹：筑波大学附属病院、防衛医科大学校病院、東京大学医学部附属病院、昭和医科大学病院、杏林大学医学部附属病院）
産婦人科専門研修プログラム連携施設
（基幹：筑波大学附属病院、昭和医科大学病院）
小児科専門研修プログラム関連施設
（基幹：筑波大学附属病院、茨城県立こども病院）
耳鼻咽喉科専門研修プログラム連携施設
（基幹：筑波大学附属病院）
泌尿器科専門研修プログラム連携施設
（基幹：筑波大学附属病院、国際医療福祉大学病院）
病理科専門研修プログラム連携施設
（基幹：筑波大学附属病院、東京大学医学部附属病院）
救急科専門研修プログラム連携施設
（基幹：筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院）
形成外科専門研修プログラム連携施設
（基幹：筑波大学附属病院）
リハビリテーション科専門研修プログラム関連施設
（基幹：筑波大学附属病院）
麻酔科専門研修プログラム連携施設
（基幹：筑波大学附属病院）
臨床検査科専門研修プログラム連携施設
（基幹：自治医科大学附属病院）
総合診療科専門研修プログラム連携施設
（基幹：北茨城市民病院）

・後期研修関係（2017年度以前研修開始）
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
日本整形外科学会認定専門医制度研修施設
日本形成外科学会認定施設
日本救急医学会救急科専門医指定施設
日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本皮膚科学会認定専門医研修施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本病理学会研修認定施設B

・サブスペシャルティ領域専門医
日本リウマチ学会教育施設
日本消化器病学会認定施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本呼吸器学会認定施設
日本血液学会専門研修認定施設
日本神経学会准教育施設
日本腎臓学会認定教育施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本肝臓学会認定施設
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構修練施設認定
日本消化器外科学会専門医修練施設
日本周産期・新生児医学会新生児専門医暫定認定施設
呼吸器外科専門医合同委員会専門研修基幹施設
日本集中治療医学会専門医研修施設
日本婦人科腫瘍学会指定修練施設
日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設

・その他施設
日本呼吸器内視鏡学会認定施設
日本臨床腫瘍学会認定研修施設
日本臨床細胞学会認定施設・教育研修施設
日本乳癌学会認定医専門医制度関連施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本肝胆膵外科学会認定肝胆膵外科高度技能専門医修練施設A
日本胆道学会認定指導医制度指導施設
日本脈管学会認定研修指定施設
日本透析医学会専門医制度教育関連施設
日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医制度指定研修施設
日本放射線腫瘍学会認定施設
日本IVR学会専門医修練認定施設
日本栄養治療学会栄養サポートチーム専門療法士認定教育施設
日本栄養治療学会NST稼働認定施設
臨床遺伝専門医制度研修施設
遺伝性乳癌卵巣癌総合診療基幹施設
日本産婦人科内視鏡学会認定研修施設
日本産科婦人科内視鏡学会ロボット手術認定研修施設

・その他施設
JCOG婦人科腫瘍グループ参加施設
JCOG肺がん外科グループ参加施設
JCOG消化器内視鏡グループ参加施設
JCOG乳がんグループ参加施設

病院からメッセージ



研修管理委員長
鈴木 保之 医療教育局長

当院の臨床研修では、総合診療、プライマリ・ケア、救急対応の基本的な知識・技能が身につくことを目標にし、上級医によるマンツーマンの指導が行われています。臨床研修の２年間は医師としての基礎を築く重要な時期ですが、当院では、やる気さえあれば多くの症例を経験することができ、またカンファレンス、レジデントレクチャー等様々な教育プログラムが用意されていますので、同時に考える力を養うこともできます。他の施設、特に大学病院では経験できない素晴らしい研修の機会がここには用意されています。２年間の研修で、今後の医師としてのキャリアの基礎になる真の実力、高い現場対応能力を養いましょう。



研修医
永野 礼菜

私が初めて当院に訪れたのは秋田大学在学中の病院見学の時です。「忙しそうだけど生き生きと働いている」先輩方の姿が印象的であり、雰囲気の良さに惹かれて入職を志望しました。２年間の研修修了を迎える今でも、その直感は間違っていなかったと思っています。各診療科の指導医の先生方は熱心にご指導くださり、小さな疑問にも丁寧に向き合ってくれます。研修医室では同期や後輩との会話で休息しつつ、互いに学び合いながら刺激をもらっている日々です。職種を問わずスタッフの皆さまが温かく見守ってくださり、一歩一歩着実に成長できる環境であると思います。ぜひ一度病院見学にお越しいただき、当院の雰囲気を感じてみてください。



06 株式会社日立製作所 日立総合病院

筑波大学附属病院 日立社会連携教育研究センター

病院の概要

開設	1938年1月
開設者	株式会社日立製作所
院長名	渡辺　泰徳
病床数	608床
標榜科（34科）	内科、消化器内科、呼吸器内科、 血液・腫瘍内科、代謝・内分泌内科、 循環器内科、腎臓内科、精神科、神経内科、 緩和ケア内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、 乳腺・甲状腺外科、泌尿器科、整形外科、 形成外科、脳神経外科、小児科、小児外科、 新生児科、産婦人科、皮膚科、耳鼻いんこう科、 眼科、リハビリテーション科、放射線診療科、 放射線腫瘍科、麻酔科、病理診断科、 臨床検査科、救急総合診療科、歯科、歯科口腔外科
医師数	171人
指導医数	52人
研修医の主な出身大学	筑波大学、京都府立医科大学、産業医科大学、 富山大学、東京大学、東京医科大学、 獨協医科大学、日本医科大学、徳島大学、 秋田大学、長崎大学、金沢医科大学
外来患者数	944人/日（2025年実績）
入院患者数	481人/日（2025年実績）
時間外・休日労働時間上限の適用水準	A水準、B水準（2026年4月現在） ※臨床研修医はA水準（年間960時間上限）となります



応募・問合せ先

筑波大学附属病院 日立社会連携教育研究センター
株式会社日立製作所 日立総合病院

〒317-0077　茨城県日立市城南町二丁目1番1号
担当者：臨床研修管理室　柴田（内線8800）
TEL：0294−23−1111（代）
FAX：0294−23−8414
E-mail：rinsyokensyuiyo.nichibyo.pv@hitachi.com
URL：https://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachi/



■ＪＲ常磐線日立駅中央口より　車で10分／バスで15分／徒歩で25分

■常磐自動車道日立中央I.C.より　車で10分

募集要項

応募資格	2027年3月国家試験合格見込者
採用人数	10名（予定）
試験日程	2026年7月～9月
選考方法	面接
処遇	■身　分：医師有期契約社員 ■給　与：1年次基本給40万円 その他諸手当等を含む年収約560万円 2年次基本給41万円 その他諸手当等を含む年収約670万円 ■社会保険：有り ■宿　舎：有り ■そ の 他：時間外勤務手当、宿日直手当、呼出手当等有

病院見学対応状況

■見学時間…随時（平日）
■対象…全学年
■宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
■問い合わせ先…担当者：臨床研修管理室　柴田
TEL：0294-23-1111（内線 8800）
E-mail：rinsyokensyuiyo.nichibyo.pv@hitachi.com

育児支援等

■出産・育児休暇有
■育児のための短時間勤務等の制度
■院内保育園完備（病児保育にも対応）
■医師専用食堂有
■医療専用図書有（24hr利用可）
■論文投稿・学会発表に係る費用補助

研修プログラムの特色

日本救急医学会専門医指定施設、地域災害医療センターとして茨城県北部の救急医療を担っています。2025年実績：救急車搬送台数 6,250 台 / 年という実績が示す通り救急患者の受入も多く第三次救急体制での救急医療を学びたい方にもお勧めです。また、当院は、茨城県地域がんセンターを併設し、高度医療を担っています。各学会の専門医指定施設で熱心な指導医らの質の高い医療を学ぶことが可能です。その他、健診施設（PET 健診、人間ドック、脳ドック）や産業医療施設、地域医療施設と連携しており、将来予防医学、産業医活動、家庭医などを志す方にもお勧めです。

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急総合診療科			外科	麻酔科	
2年次	地域医療		選択科＊						精神科	小児科		産婦人科

＊選択科は、「内科」「外科」「小児科」「心臓血管外科」「形成外科」「麻酔科」「産婦人科」「放射線診療科」「救急総合診療科」「地域医療」「脳神経外科」「眼科」「皮膚科」「泌尿器科」「整形外科」「耳鼻いんこう科」より選択（組合せ自由）

専門研修の募集について

当院では右記診療科の専門研修プログラムがあります。
詳細については当院ホームページ「職員募集」をご確認願います。

募集診療科	選考方法
内科、外科	面接

研修・認定施設一覧

・日本内科学会認定内科専門医教育病院
・日本呼吸器学会認定施設
・日本肝臓学会認定施設
・日本消化器内視鏡学会認定指導施設
・日本消化器病学会認定医制度認定施設
・日本透析医学会認定医制度教育関連施設
・日本腎臓学会専門医制度研修施設
・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
・日本血液学会認定研修施設
・日本神経学会認定教育施設
・日本外科学会外科専門医制度修練施設
・日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設
・日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設
・日本整形外科学会専門医制度研修施設
・日本皮膚科学会認定専門医研修施設
・日本泌尿器科学会専門医制度教育施設
・日本小児科学会専門医制度研修施設
・日本脳神経外科学会専門医認定制度訓練施設
・日本眼科学会専門医制度研修施設
・日本麻酔科学会指導病院
・日本医学放射線学会専門医研修協力機関
・日本老年医学会認定専門医制度認定施設
・日本心血管インターベンション学会認定施設
・日本消化器外科学会専門医修練施設
・心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
・日本脳卒中学会認定研修教育病院
・日本救急医学会救急科専門医指定施設
・日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
・日本がん治療学会認定研修施設
・日本乳癌学会認定施設
・日本リハビリテーション医学会研修施設
・日本静脈経腸栄養学会実施修練認定教育施設
・日本臨床細胞学会認定施設
・日本形成外科学会認定医制度研修施設
・日本大腸肛門病学会認定施設
・日本総合健診医学会専門医研修施設
・日本輸血・細胞治療学会 I&A 認定施設
・日本消化管学会胃腸科指導施設
・日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設
・日本糖尿病学会教育関連施設
・日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
・日本腎臓財団臨床実習施設
・日本緩和医療学会認定研修施設
・日本認知症学会認定教育施設
・日本内分泌・甲状腺外科専門医制度認定施設
・日本周産期・新生児医学会周産期新生児専門医補完研修施設
・日本産婦人科学会専門医研修連携施設
・日本核医学会専門医教育病院
・日本IVR学会専門医修練施設
・日本放射線腫瘍学会認定施設
・日本集中治療医学会集中治療専門医研修施設

病院からメッセージ



研修責任者
藤田　恒夫 副院長兼臨床研修センター長

今や、医師は単に専門分野の疾患を治療するのみでなく、患者、家族の抱える様々な身体的、心理的、社会的問題も的確に認識・判断し、医療チームの中で治療、看護、介護サービス等種々の方策を総合的に組織・管理し、問題解決を図る能力を備えることが求められています。従って、専門分野のみならず、患者を全人的に診る能力を全ての医師が身に付けるための臨床研修マネジメントを行い、将来の医療の質を向上させることができればと願っています。



内科専攻医
前原　巧

当院は県北地区の基幹病院であるため、内科・外科を問わず多岐にわたる症例を経験できることが大きな魅力です。指導医の先生方は教育熱心で、丁寧な指導を受けながら確実にスキルを伸ばすことができます。研修医のうちに身につけたい手技の機会が非常に豊富で、早期から実践的な経験を積むことが可能です。

救急科の研修では3ヵ月間で救急車・walk inを併せて300症例以上をファーストタッチから診療できるため、初期対応能力が大きく向上します。2年目では半年以上を自由に診療科選択ができるため自分の希望に合わせた研修スケジュールを組むことも可能です。

豊富な症例と手厚い指導が揃った環境で医師としての基盤をしっかり築くことができる病院です。当院の雰囲気も含めてぜひ一度見学にお越しください。



07 株式会社日立製作所ひたちなか総合病院

筑波大学附属病院　ひたちなか社会連携教育研究センター

病院の概要

開設	1959 年２月
開設者	株式会社日立製作所
院長名	吉井　慎一
病床数	302 床
標榜科（40 科）	内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、血液内科、腫瘍内科、糖尿病内科、代謝内科、内分泌内科、心療内科、感染症内科、老年内科、腎臓内科、小児科、外科、心臓血管外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、救急科、アレルギー科、精神科、児童精神科、リウマチ科、リハビリテーション科、歯科口腔外科
医師数	91人
指導医数	37人
研修医数	17人（協力型含む）
研修医の主な出身大学	筑波大学、東京科学大学、日本医科大学、東京医科大学、慶應義塾大学、三重大学、秋田大学、杏林大学、浜松医科大学、東京大学、福島県立医科大学、山形大学、獨協医科大学、埼玉医科大学、宮崎大学、東北医科薬科大学、東邦大学
外来患者数	約 605.0人 / 日
入院患者数	約 265.7人 / 日
時間外･休日労働時間上限の適用水準	A水準（2026年4月現在）



応募・問合せ先

筑波大学附属病院 ひたちなか社会連携教育研究センター
株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院

〒312-0057　茨城県ひたちなか市石川町20 番1
担当者：教育・研修センター　吉川
ＴＥＬ：０２９－３５４－５７０９（直通）
ＦＡＸ：０２９－３５４－６８４２
E-mail：saiyou.nakabyo.op@hitachi.com
ＵＲＬ：https://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachinaka/index.html



■ＪＲ常磐線勝田駅から徒歩10 分

募集要項

応募資格	2027 年３月医師国家試験合格見込者
採用人数	６名（予定）
試験日程	2026年7月末から9月（詳細未定）
選考方法	面接、小論文
処遇	■身　　分：医師有期契約社員 ■給　　与：1年次基本給40万円　その他諸手当等を含む年収約560万円 2年次基本給41万円　その他諸手当等を含む年収約670万円 ■社会保険：有り ■宿　　舎：有り ■そ の 他：時間外勤務手当、宿日直手当、呼出手当等有

病院見学対応状況

■見学時間…随時（平日）
■対象…４～６年生
■宿泊…院内施設に宿泊可能
※場合により近隣宿泊施設を紹介
■問い合わせ先…担当者：教育・研修センター
吉川
TEL：029-354-5709
E-mail：saiyou.nakabyo.op@hitachi.com

育児支援等

実際に子育てをしながら働いている女性医師もおり、院内保育所の設置や短時間勤務制度もあり、女性医師の働きやすい環境整備に努めております。院内保育所の見学も実施しておりますので、是非当院へお越しください。

研修プログラムの特色

1. 研修医自らが積極的に学べるように、自主性を尊重するプログラムです。
2. オープンな医局で、各専門科の垣根が低く、様々なことを並行して学べます。
3. 研修医のモチベーションに応じて、手技も豊富です。
4. 基幹型以外にも筑波大学、東京科学大学等からの協力型研修医がいて、お互いに刺激し合いながら研修できます。

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内　科						救　急		外　科		選　択　科	
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内　科	精神科	産婦人科	地域医療	救　急	小児科	選　択　科					

※1　必　修：内科・救急・外科・小児科・産婦人科・精神科・地域医療
※2　選択科：内科（専門科）・麻酔科・外科・小児科・整形外科・泌尿器科・放射線科・放射線治療科・形成外科・病理・皮膚科・リハビリテーション科・その他院外協力病院（3ヵ月まで）
※3　精神科・産婦人科・地域医療は2年次に院外研修
※4　一般外来４週以上　　※5　ローテーションは順不同

専門研修の募集について

当院は、内科の専門研修プログラムを有しています。
内科は各専門科の連携が緊密で、垣根が低く症例が多いのが特徴です。
応募時期については、専門医機構のスケジュールに準じます。

募集診療科	選考方法
内科（新専門医制度対応基幹型プログラム）：専攻医５名	面接、小論文

研修・認定施設一覧

・基幹型臨床研修指定病院
・筑波大学附属病院協力型臨床研修病院
・東京科学大学病院協力型臨床研修病院
・日本医科大学付属病院協力型臨床研修病院
・日本内科学会認定教育病院
・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
・日本心血管インターベンション治療学会施設群連携施設
・日本外科学会外科専門医制度修練施設
・日本胸部外科学会認定医関連施設
・日本呼吸器外科学会専門医制度関連施設（呼吸器外科専門医合同委員会　認定修練施設（関連））
・日本呼吸器学会認定施設
・日本呼吸器内視鏡学会専門医制度関連認定施設
・日本消化器外科学会専門医修連施設
・日本消化器病学会関連施設
・日本消化器内視鏡学会指導施設
・日本リウマチ学会教育施設
・日本神経学会准教育施設
・日本認知症学会教育施設
・日本乳癌学会関連施設
・日本整形外科学会認定研修施設
・日本小児科学会小児科専門医研修施設
・日本小児神経学会小児神経専門医修練施設
・日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
・日本泌尿器科学会専門医教育施設
・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
・日本透析医学会教育関連施設
・日本がん治療認定医機構認定研修施設
・日本リハビリテーション医学会認定研修施設
・日本病態栄養学会栄養管理・NST 実施施設
・茨城県指定地域リハ・ステーション
・日本総合健診医学会優良施設
・日本病院会（人間ドック）優良施設
・県央スポーツ医科学センター
・日本プライマリ・ケア連合学会認定研修施設
・日本アレルギー学会アレルギー専門医準教育研修施設
・日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会エキスパンダー実施施設
・日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会インプラント実施施設
・日本癌治療学会認定がん医療ネットワークナビゲーター認定研修施設
・日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
・日本放射線腫瘍学会認定施設
・栄養専門管理栄養士研修実施　修練施設

病院からメッセージ



研修責任者
山内　孝義 教育研修センター長

当院はひたちなか市唯一の総合病院で、2010年にリニューアルオープンした先進的病院ですが、研修の歴史は古く、延べ200名以上の臨床研修医が研修しました。各科の連携が緊密かつ垣根が低い事が当院の文化で、様々な科の指導医と交流できます。特徴は、1、中規模病院で全体像が見えやすい。2、手技が多く、参加しやすい。3、日本で最初にISO9001:2000を取得し、チーム医療を推進。4、筑波大学の社会連携教育研究センターが設置されている。5、企業立病院。6、筑波大学、東京科学大学等多くの病院で院外研修が可能。などです。研修ポリシーは、1. 自主性を重んじる。2. コミュニケーション。3. 振り返り。です。主体的に学ぶ姿勢を身に付け、一緒に成長しましょう。



研修医
清成　千尋

当院は、人口約 15 万人のひたちなか市で唯一の急性期病院であり、多様な症例を経験できる環境です。日々の診療では基本的な手技から専門的な治療まで学ぶことができ、研修医として大きく成長できる実感があります。また定期的に内科・救急科カンファや研修医レクチャーが開催され、勉強会も充実しております。

医局がワンフロアであるため様々な診療科の先生と顔を合わせる機会が多いのも特徴です。上級医との垣根が低く、疑問や不安をすぐに相談できる温かい雰囲気が魅力の一つだと思います。

ぜひ一度病院見学にお越しいただき、当院の温かい雰囲気を感じていただけたらと思います。お待ちしております。



08 総合病院 土浦協同病院

病院の概要

開設	1948年8月
開設者	茨城県厚生農業協同組合連合会
院長名	広岡　一信
病床数	800 床
標榜科（33科）	内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科 腎臓内科、血液内科、代謝・内分泌内科、 リウマチ科、脳神経内科、小児科、新生児科、 消化器外科、小児外科、脳神経外科、 心臓血管外科、血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、 整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、 眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、麻酔科、救急科、 病理診断科、放射線治療科、放射線診断科、 リハビリテーション科、人工透析内科、 歯科口腔外科
医師数	258人
指導医数	72人
研修医数	42人（基幹型30人、協力型12人）
研修医の主な出身大学	東京科学大学、筑波大学、東京女子医科大学、 香川大学、滋賀医科大学、順天堂大学、 鹿児島大学、福島県立医科大学、佐賀大学、 北海道大学、日本大学、新潟大学、弘前大学、 国際医療福祉大学、北里大学、熊本大学　他
外来患者数	1,557人/日
入院患者数	548人/日
時間外・休日労働時間上限の適用水準	A水準、B水準、C-1水準、C-2水準（2026年4月現在） ※臨床研修医は原則A水準となります

募集要項

応募資格	2027年3月国家試験合格見込者
採用人数	15名（予定）
試験日程	2026年8月頃（予定）
選考方法	面接試験・小論文
処遇	■身　　分：常勤医師 ■給　　与：1年次基本給30万円 その他諸手当等を含む年収約540万円 （時間外勤務手当は別途支給） 2年次基本給35万円 その他諸手当等を含む年収約705万円 （時間外勤務手当は別途支給） ■社会保険：有り ■宿　　舎：有り

病院見学対応状況

■見学時間…随時（平日）
■対象…全学年
■宿泊…研修医宿舎に宿泊可能（無料）
※事前申込み必要
■問い合わせ先
担当者：担当者：庶務課　大貫・田中
TEL：029-830-3711
E-mail：rinken@tkgh.jp



応募・問合せ先

総合病院 土浦協同病院
〒300-0028　茨城県土浦市おおつ野4丁目1番1号
担当者：庶務課　大貫・田中
ＴＥＬ：０２９－８３０－３７１１
ＦＡＸ：０２９－８４６－３７２１
E-mail：rinken@tkgh.jp
ＵＲＬ：https://www.tkgh.jp/



■JR常磐線	土浦駅より	タクシー約12分 バス約25分
■常磐自動車道	土浦北ICより 桜土浦ICより	約15分 約25分

育児支援等

当院では、女性医師支援対策として、妊娠・育児中の当直免除・時短勤務のほか、附属保育所では24時間年中無休で保育を行っており、キャリアを中断することなく、安心して研修・勤務することが可能です。その他、女性専用当直センターなど充実したアメニティーを有し、育児中のみならず、女性が安心して働ける環境が整っています。また、フォスタードクター制度など先輩医師に気兼ねなく相談できる体制作りに努めています。



研修プログラムの特色

○救命救急の医療から老人医療や在宅ケアなどを含む総合保健医療まで、幅広く実践している当院ならびに連携施設での２年間の臨床実習を通して基本的知識・技術・態度を修得し、病み・悩める人の全体像を捉える全人的医療を身につけることを目的とする。
○研修後、総合診療医あるいは専門医になるかの希望進路を勘案して、面談を通して研修プログラム内容を柔軟性をもって計画できる体制を準備している。

研修スケジュール例

当院では研修医の希望に合わせてプログラムを組むことができ、様々なパターンのプログラムを作成・研修できる。

・必修科目優先で研修する一例

	1クール	2クール	3クール	4クール	5クール	6クール	7クール	8クール	9クール	10クール	11クール	12クール	13クール
1年次	内科						外科		救急部門		自由選択		
2年次	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	救急科	自由選択							

・将来の専門分野をはじめに研修する一例（ex.小児・産婦人科希望の場合）

	1クール	2クール	3クール	4クール	5クール	6クール	7クール	8クール	9クール	10クール	11クール	12クール	13クール
1年次	小児科		産婦人科		救急部門		自由選択			内科			
2年次	地域医療	精神科	外科		内科		救急科	自由選択					

※８週のブロック研修期間中、４週を上限として、麻酔科研修を救急の研修期間とすることができる。 ※一般外来４週以上を含む。
※１年次に１年間、茨城県立中央病院、ひたちなか総合病院、日立総合病院のいずれかでたすきがけ研修可能。選定あり。
※当院プログラムの詳細は、当院ＨＰをご確認ください。

専門研修の募集について

新専門医制度にて基幹施設として右記７診療科の専門研修プログラムを運用しています。
それぞれのプログラムでは、症例の豊富な当院での研修をベースに、連携施設の県内外の大学・病院をローテーションする充実した研修を用意しています。詳細は HP をご覧ください。
※７診療科以外は、筑波大学や東京科学大学の連携施設として研修をお受けしています。

募集診療科	選考方法
内科 小児科 外科 整形外科 産婦人科 脳外科 救急科	専攻医登録システムにて当院のプログラムに応募登録頂いたうえ、面接・小論文試験を実施。 各応募人数等については、HP を参照ください。

研修・認定施設一覧

詳細につきましては、当院ホームページをご参照ください。

病院からメッセージ



研修責任者
渡辺　章充　副院長

土浦協同病院での臨床研修をお勧めします。公募研修医 15名、東京科学大学・筑波大学の禦が数名ずつ、2学年合わせて約40名の臨床研修医が、土浦協同病院で豊かな熱い臨床研修をしています。彼らは、毎年、研修スタート時とは見違えるような、実力と自信を付けて、次のステップへ旅立っていきます。広い医療圏から様々な患者さんたちが来院し、その患者さんとの出会いが、研修医たちの臨床力・判断力・持続力と医療人の素養を高めてくれます。指導医は、東京科学大学・筑波大学を中心とする、教育熱心で臨床力の優れた医師たちです。看護師、薬剤師、リハビリテーション職、臨床検査技師、放射線技師、栄養士等のコメディカルも、研修の大きな味方です。土浦協同病院での臨床研修をお勧めします。見学にいらしてください。



研修医
今井　勇輝

当院の臨床研修では、地域の中核病院として多くの症例が集まり、幅広い症例を経験することができます。救急外来では積極的に研修医が初期診療に携わり、病棟でも多くの診療科のもとで多様な疾患を診ることができます。上級医の先生方の手厚い指導のもと、医師としての基本的な診療技能を身につけられ、それを生かす機会の多い、恵まれた環境だと実感しています。日々新しい学びがあり、それが明日の診療に繋がる、充実した日々を過ごしています。また2学年で 40人程度の研修医が在籍しており、相談し合い、切磋琢磨できる多くの仲間がいることも魅力です。是非見学にいらして、地域の急性期医療を担う当院の雰囲気を感じていただけたらと思います。



09 霞ヶ浦医療センター

独立行政法人国立病院機構

病院の概要

開設	1945 年 12 月（2004 年４月）
開設者	独立行政法人国立病院機構
院長名	鈴木　祥司
病床数	250 床
標榜科（26科）	内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、糖尿病・代謝内科、血液内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科、乳腺甲状腺外科
医師数	40人
指導医数	27人
研修医数	基幹型2人、協力型5～10人
研修医の主な出身大学	金沢大学、山形大学、日本大学、筑波大学、島根大学
外来患者数	529.9人/日
入院患者数	142.0人/日
時間外・休日労働時間上限の適用水準	A水準（2026年4月現在）



募集要項

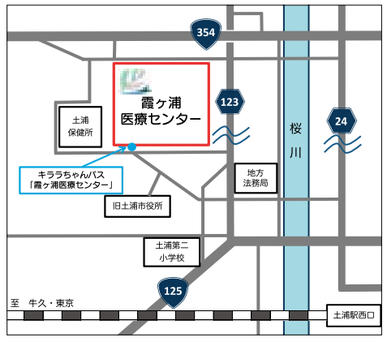
応募資格	2027年3月国家試験合格見込み者
採用人数	2名（予定）
試験日程	2026年７月～8月ごろ
選考方法	面接
処遇	■身　　分：常勤嘱託 ■給　　与：1年次基本給384,500円 その他諸手当等を含む年収約610万円 （時間外勤務手当は別途支給） 2年次基本給384,500円 その他諸手当等を含む年収約610万円 （時間外勤務手当は別途支給） ■社会保険：有り ■宿　　舎：貸与可能（家賃月額5,300円程度）

病院見学対応状況

■見学時間…随時
■対象…全学年
■宿泊…可能※事前申込み要（無料）
■問い合わせ先
担当者：管理課　庶務係長
TEL：029-822-5050
E-mail：201-kasumikanri@mail.hosp.go.jp

応募・問合せ先

独立行政法人国立病院機構
霞ヶ浦医療センター
〒 300-8585　土浦市下高津 2−7−14
担当者：管理課　庶務係長
ＴＥＬ：０２９−８２２−５０５０
ＦＡＸ：０２９−８２４−０４９４
E-mail：201-kasumikanri@mail.hosp.go.jp
ＵＲＬ：https://kasumigaura.hosp.go.jp/



■ＪＲ常磐線　土浦駅西口下車
・キララちゃんバス　Ｂコース：亀城公園循環（右回り）約５分
「霞ヶ浦医療センター」下車
■自動車
・常磐高速自動車道　桜土浦インターから　約 10 分（４km）
・つくばセンターより　約 15 分（8.5km）

育児支援等

■敷地内の保育園（約 30,000 ～ 35,000 円／月）に優先的に入所できます。保育園は、事前申請すると午後８時まで無料で延長保育が可能です。義務教育開始までは、育児時間制度（２時間／日まで）も利用できます。
■子育て中の女性医師も複数名在籍しており、毎年、育児時間や育児休業の取得実績もあります。子育て中でも子育て予定でも、霞ヶ浦医療センターは意欲のある女性医師を応援します！

研修プログラムの特色

①内科系では、循環器内科・呼吸器内科・代謝内科・総合診療で充実した研修が受けられます。また、総合診療で、外来研修を行っています。
②外科系では、乳腺・甲状腺外科・整形外科・産婦人科・泌尿器外科・形成外科・眼科などで多くの手術が行われ、症例に恵まれた研修が受けられます。
③地域医療では、近くの開業医さんのところで在宅医療を含めた研修を行っています。また、長年にわたり地域医療カンファレンスが他職種（開業医、薬剤師、訪問看護師、ケアマネ、市役所職員、介護施設職員など）合同で行われており、広い視野を得られます。
④中規模の市中病院なので、医師同士やコメディカルとの連携がスムーズで、ストレスなく一連の「病院業務」を学習できます。

研修スケジュール例

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
１年次	内科				産婦人科		精神科	眼科	麻酔科	整形外科	総合診療（外来研修）	
２年次	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
	地域医療	小児科	救急医療		一般外科		選択					

専門研修の募集について

専門研修については、当院の多くの診療科で専門研修連携施設としてプログラムに参加予定となっています。
詳細が決定次第ホームページ等に掲載予定です。

研修・認定施設一覧

・日本がん治療認定医機構認定研修施設
・日本乳癌学会関連施設
・日本内科学会認定教育関連施設
・日本呼吸器学会認定施設
・日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設
・日本循環器学会循環器専門医研修関連施設
・日本糖尿病学会教育関連施設
・日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設
・日本泌尿器科学会認定専門医関連教育施設
・日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
・日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
・日本産婦人科内視鏡学会認定研修施設
・日本女性医学会専門医制度認定研修施設
・日本眼科学会専門医制度研修施設
・日本麻酔科学会認定病院
・日本病理学会研修登録施設
・日本臨床細胞学会認定施設

病院からメッセージ



院長
鈴木　祥司

当院のコンセプトは、臨床の各分野で頻度の高い基本的疾患・基本的手技を「見たことがある・判る」「触ったことがある・できる」研修医を育てることです。大学病院とは異なり、当院には特殊な疾患とともに、特殊ではないが重要な多くの疾患が集まっています。このような中で、確実に身になる素晴らしい研修・思い出に残る研修を経験させてあげたいと思っています。



研修責任者
丸山　秀和 土浦市地域臨床教育センター講師

霞ヶ浦医療センターは、茨城県南部の市中病院で研修を希望される方に適した総合病院です。当院の特徴は、筑波大学の臨床教育センターがあるので大学教員による指導や充実した図書館機能を享受できることと、一般病院なのでコモン・ディジーズを多く経験できることという２つの長所があることです。また、国立病院機構の病院なので安定した処遇を受けられます。広大な敷地には樹木が茂り、医局からは筑波山と霞ヶ浦の眺めを楽しめます。ぜひ霞ヶ浦医療センターで研修医生活をスタートしてみませんか。見学は随時受け付けています。



10 筑波記念病院

病院の概要

開設	1982 年２月
開設者	医療法人社団筑波記念会
院長名	榎本　強志
病床数	487 床
標榜科（30科）	内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、糖尿病・内分泌代謝内科、アレルギー科、リウマチ科、血液内科、 外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、整形外科、形成外科、小児外科、小児科、婦人科、精神科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急科、美容皮膚科
医師数	110人
指導医数	56人
研修医数	臨床研修医 18名 （1年目 10 名・２年目 8名）
研修医の主な出身大学	慶應義塾大学、東京医科大学、琉球大学、岩手医科大学、筑波大学、東海大学、日本大学、秋田大学、宮崎大学、信州大学、東京女子医科大学、ハンガリー医大
外来患者数	886 人／日
入院患者数	405 人／日
時間外・休日労働時間上限の適用水準	A水準（2026年4月現在）



募集要項

応募資格	医学部、医科大学を卒業または見込みの者、医師免許を有する者
採用人数	10名（予定）
試験日程	2026 年８月
選考方法	書類審査、面接（対面またはオンライン）
処遇	■身　分：常勤医師 ■給　与：1年次基本給40万円　その他諸手当等を含む年収約560万円 2年次基本給47万円　その他諸手当等を含む年収約690万円 ■社会保険：有り ■宿　舎：有り

応募・問合せ先

筑波記念病院
〒 300-2622　茨城県つくば市要 1187-299
担当者：リクルートセンター　　増井、栗山、高野
ＴＥＬ：０２９－８６４－６８６０
ＦＡＸ：０２９－８６４－６８６０
E-mail：recruit@tsukuba-kinen.or.jp
ＵＲＬ：https://tsukuba-kinen.or.jp/



■つくばエクスプレス「つくば駅」下車
駅から病院まではタクシー（10 分）

※つくば駅に隣接のつくばセンターからは、当院無料送迎バスもご利用になれます。但し、運行時間 8:05 ～17:25
日曜・祝日・年末年始は運休です。

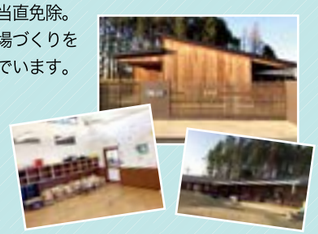
〈詳細はお問い合わせください〉

病院見学対応状況

■ 見学時間…随時（平日）
■ 対象…全学年
■ 宿泊…院内の施設宿泊可能（無料）
■ オンライン説明（応相談）
■ 問い合わせ先
担当者：リクルートセンター
臨床研修担当　増井、栗山、高野
TEL：029-864-6860
E-mail：recruit@tsukuba-kinen.or.jp

育児支援等

院内保育所の設置。（24 時間対応）
妊娠中・育児中の当直免除。
安心して働ける職場づくりを目指して取り組んでいます。
女性の研修医も歓迎いたします。
是非一度見学に来てください。



研修プログラムの特色

1）地域第一線急性期病院ならではの豊富な症例に基づく、プライマリケアと専門分野との一貫した研修を目標に、基本必修科目に加え自由度に富んだ選択科目によりプログラムを構成し、年間を通じ救急症例を経験する。
2）当院は急性期医療のみならず、予防医療、慢性期医療、リハビリ、老人保健施設、介護在宅医療などを包括する自己完結型医療施設を構築しており、幅広い臨床研修が可能である。

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急			(病院必修) 麻酔科	外科	(病院必修) 外科
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	産婦人科	精神科	小児科	地域医療	選択							

＜必修＞　内科・救急・地域医療・外科・産婦・精神・小児・一般外来研修
内科（24週）：循内・消内・血内・神内・呼内より選択
救急（12週）：当院救急科で研修
地域医療（4週）：筑波総合クリニック研修に加え、介護老人保健施設・健康増進施設・在宅医療機関で研修
外科（4週）：消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科より選択
産婦（4週）：大学病院・市中病院より選択
精神（4週）：大学病院・市中病院より選択
小児（4週）：大学病院・市中病院より選択
一般外来研修（4週）：並行研修

＜病院が定める必修＞　外科・麻酔
外科（4週）：消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・整形外科・ 脳神経外科より選択
麻酔（4週）：当院麻酔科で研修

＜選択＞
循内・消内・血内・代内・呼内・消外・呼外・心外・麻酔・産婦・小児・精神・整形・脳外・放射線・眼科・形成・耳鼻科・リハ・泌尿器・救急
（科目によっては協力型病院で研修が可能：それぞれの選択期間については要相談）

専門研修の募集について

内科、外科、救急科、リハビリテーション科、麻酔科の基幹施設となっています。
応募については日本専門医機構の募集スケジュールに準じます。
詳細は当院HPをご確認下さい。

募集プログラム	選考方法
内科専門医研修プログラム……定員３名 外科専門医研修プログラム……定員２名 救急科専門医研修プログラム……定員２名 茨城県地域総合リハビリテーション専門研修プログラム…定員２名 麻酔科専門研修プログラム……定員２名	書類審査・面接

研修・認定施設一覧

・臨床研修病院
・日本リハビリテーション医学会研修施設
・日本眼科学会認定専門医制度研修施設
・日本外科学会外科専門医制度修練施設
・日本整形外科学会専門医研修施設
・日本脳神経外科学会専門研修プログラム連携施設
・日本麻酔科学会認定麻酔科認定病院
・日本医学放射線学会認定放射線科専門医修練機関
・心臓血管麻酔専門医認定施設
・呼吸器内科領域専門研修施設群(連携施設)
・日本血液学会認定専門研修認定施設
・日本集中治療医学会専門医研修施設
・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
・日本神経学会教育施設
・日本消化器外科学会専門医修練施設
・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
・日本消化器病学会専門医制度認定施設
・浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
・一般財団法人日本作業療法士協会 作業療法士臨床実習指導施設
・下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施施設
・呼吸器外科専門医合同委員会認定専門研修連携施設
・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定基幹施設
・日本医療薬学会認定日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
・日本医療薬学会認定日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師研修施設
・日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設
・日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設
・日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医制度　関連認定施設
・日本ステントグラフト実施基準管理委員会胸部ステントグラフト実施施設
・日本ステントグラフト実施基準管理委員会腹部ステントグラフト実施施設
・日本大腸肛門病学会認定施設
・日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
・日本認知症学会認定教育施設
・日本脳神経外傷学会研修施設
・日本脳卒中学会一次脳卒中センター
・日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育施設
・日本泌尿器科学会専門医教育施設
・日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
・日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
・日本脈管学会認定研修指定施設
・日本臨床栄養代謝学会NST稼働施設
・臨床栄養師研修施設
・日本総合健診医学会及び日本人間ドック学会／健診専門医研修施設
・日本総合健診医学会認定優良総合健診施設
・日本人間ドック学会及び日本病院会指定 優良人間ドック・健診施設
・日本脳ドック学会認定施設
・地域医療支援病院
・地域災害拠点病院
・DMAT指定医療機関
・茨城県肝疾患専門医療機関
・茨城県地域リハビリテーション推進拠点
・茨城県地域リハ・ステーション
・茨城県地域リハビリテーション研修支援センター
・日本がん治療認定医機構認定研修施設
・マンモグラフィー検診施設画像認定施設
・健康評価施設査定機構認定 特定健診・特定保健指導優良認定施設

病院からメッセージ



プログラム責任者
血液内科診療部長
一色　雄裕

当院では急性期医療だけでなく、リハビリ医療、慢性期医療、在宅医療、予防医療、介護施設など幅広い領域におけるシームレスな研修が可能です。経験豊富な指導医が直接指導にあたるだけでなく、各診療科・各職種の垣根を超えた風通しの良いカンファレンスを行うなど、病院全体で研修医の成長をバックアップしています。研修プログラムは柔軟性に富み、研修医の希望と各スタッフの意見を迅速に反映しながら、一体となってより良い教育環境を目指しています。

臨床研修はもちろんのこと、症例発表や抄読会などの学術的なプログラムにおいても充実を図り、両面のバランスがとれた経験を積むことができます。「質の高いスペシャリスト」へと繋がる「ジェネラリストとしての基盤」が築けるように支援します。



研修医
掛谷　魁

当院は定員10名の研修プログラムで、1年目から内科・外科的手技を多く経験できます。また処方や急性期・慢性期管理など様々な事を集中的に指導していただけます。2026年6月には県内最大規模のリハビリ病院が新設され、様々な疾病に対してのリハビリを勉強することもできます。更に研修内容の相談や日常での悩み等を気軽に相談できる事務スタッフが身近にいて、日々のサポートが充実していることも魅力の一つです。いろいろな志を持った研修医たちとは仲が良く切磋琢磨し、医師として成長できます。

臨床研修の２年間は長いようで短いです。一緒に当院で充実した生活を送りましょう。

ぜひ一度、見学にいらしてください。お待ちしています。



11 筑波大学附属病院

病院の概要



開設	1976 年３月
開設者	国立大学法人筑波大学
院長名	平松　祐司
病床数	809 床
標榜科（40科）	循環器内科、心臓血管外科、消化器内科、消化器外科、呼吸器内科、呼吸器外科、腎臓内科、泌尿器科、内分泌代謝・糖尿病内科、乳腺・甲状腺・内分泌外科、膠原病・リウマチアレルギー内科、血液内科、精神神経科、皮膚科、小児内科、小児外科、形成外科、脳神経内科、脳神経外科、脳卒中科、整形外科、リハビリテーション科、眼科、産科・婦人科、耳鼻咽喉科、麻酔科、歯科・口腔外科、メンタルヘルス科、救急・集中治療科、放射線腫瘍科、放射線診断・IVR科、感染症内科、病理診断科、総合診療科、臨床病理科、遺伝診療科、睡眠呼吸障害科、腫瘍内科、病院総合内科、緩和支持治療科
指導医数	348人
研修医数	136人
研修医の主な出身大学	筑波大学、山形大学、秋田大学、北里大学、東京医科大学、獨協医科大学、日本大学、東邦大学、埼玉医科大学、東京女子医科大学、弘前大学、富山大学、山梨大学、愛媛大学、宮崎大学、神戸大学、福島県立医科大学　他
外来患者数	1,781人／日
入院患者数	706人／日
時間外・休日労働時間上限の適用水準	A水準、B水準、連携B水準（2026年4月現在） ※臨床研修医はA水準（年間960時間上限）となります

募集要項

応募資格	2027 年３月国家試験合格見込者
採用人数	65名（一般）3名（小児特別）2名（産科特別）1名（研究医特別）（予定）
試験日程	2026 年8月6日（木）・17日（月）予定 ※研究医特別のみ5月予定
選考方法	書類審査、面接
処遇	■身　　分：医員（研修医） ■給　　与：1年次・2年次 基本的に諸手当等を含め年収約400万円 ■社会保険：有り ■宿　　舎：有り

応募・問合せ先

筑波大学附属病院

〒305-8576　茨城県つくば市天久保 2−1−1
担当者：病院総務部総務課　総合臨床教育センター係
ＴＥＬ：０２９−８５３−３５１６・３５２３
ＦＡＸ：０２９−８５３−３６８７
E-mail：kensyu@un.tsukuba.ac.jp
ＵＲＬ：https://www.hosp.tsukuba.ac.jp/



■つくばエクスプレス秋葉原駅から快速利用、終点「つくば駅」(45 分)下車後、A3 出口「つくばセンター」バスターミナルで乗り換え※
■東京駅・八重洲南口（2番のりば）から高速バス（筑波大学行）で「筑波大学病院東」で下車又は（つくばセンター行）で終点（60 分）下車後乗り換え※
■ JR常磐線・土浦駅西口（2番のりば）から関東鉄道バスで「筑波大学病院東」(30 分)下車、又は（つくばセンター行）で終点(25 分)下車後、乗り換え※

■JR常磐線・ひたち野うしく駅東口（1番のりば）から関東鉄道バス（筑波大学中央行）で「筑波大学病院東」(30 分)下車　又は(つくばセンター行)で終点(25 分)下車後、乗り換え※
※「つくばセンター」での乗り換え：6 番のりばから、「筑波大学循環(右回り)」又は「筑波大学中央」行きのバスで約 5 分、「筑波大学病院東」で下車

病院見学対応状況

■見学時間…随時（平日）
■対象…全学年
■宿泊…学校宿泊施設（1泊4,700円）
　　又は近隣の宿泊施設を紹介
■問い合わせ先
　担当者：病院総務部総務課
　　（総合臨床教育センター係）
　TEL：029-853-3516、3523
　E-mail：kensyu@un.tsukuba.ac.jp

育児支援等

筑波大学では育児中の支援に積極的に取り組んでいます。臨床研修では産休・育休の取得、附属の保育園の利用、病児保育の利用が可能です。専門研修ではさらに短時間勤務制度の利用も可能です。また、臨床研修中でも専門研修中でも教育センター専任教員が出産・育児にあわせた研修カリキュラムの調整や相談対応を個別に行っています。



研修プログラムの特色

【一人一人のキャリアプランを応援するハイブリッド研修】
当院の特色は、幅広い研修の選択肢と魅力ある病院群によって、大学病院と市中病院を一人一人の希望に沿って組み合わせることのできる「ハイブリッド研修」です。大学病院では症例プレゼンテーションや合同カンファレンスなどを通して症例ごとに深く掘り下げて学ぶことができ、市中病院では common disease を数多く研修することができます。市中病院での研修期間は、2年間で最短1か月～最長15か月まで細かく設定することができ、皆さんの目標に合わせた病院・科目選択が可能となっています。
【多彩な経験で視野を広げる】
上記の他、外来研修としての診療所研修、選択科目での保健所研修なども可能で、医療の継続性、保健・医療・福祉の連携、在宅医療などについて研修することもできます。
【3つの特別プログラム】
一般プログラムの他、小児科特別プログラム、産科特別プログラム、研究医特別プログラムがあります。特別プログラムの詳細は個別にお問い合わせください。

研修スケジュール例

例１　幅広く様々な科で研修

1年次												2年次											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内　科（院外）			救　急（院外）			内　科			整　形			麻酔科		産婦人科		小児科（院外）		皮膚科（院外）		精神科	地域	外　科（院外）	
												外来研修（診療所週１回）											

例２　専門分野（耳鼻咽喉科）を重点的に研修

1年次												2年次											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
耳鼻科		救　急		麻酔科		内　科（院外）						地域＋選択		小児科（院外）		産婦人科（院外）		耳鼻科（院外）		精神科	耳　鼻		
												外来研修											

※すべての診療科で選択研修が可能です。県内すべての基幹型研修病院と連携しています。
※研修スケジュールは個別に希望調査の上、総合臨床教育センター専任教員が個々の希望を調整しながらローテーションを組んでいます。

専門研修の募集について

新専門医制度の全19基本領域で基幹型研修施設となっております。
専門研修においては大学院に進学しつつ専門研修を行うアカデミックレジデント制度、専攻医の出産・育児支援制度、海外留学支援制度などがあり、多彩なキャリア支援を行っております。
基本領域ごとの専門研修プログラムの内容は総合臨床教育センターのホームページ内「専門研修」をご参照ください。

研修・認定施設一覧

主要学会全ての教育認定施設となっております。筑波大学附属病院ホームページでご参照ください。

病院からメッセージ



総合臨床教育センター部長
瀬尾　恵美子

筑波大学附属病院は、開院以来先進的な医学教育プログラムの構築に努めてきました。
卒前、卒後、生涯教育を統括する総合臨床教育センターに専任教員を配置し、一人一人に最適な研修を提供できる環境を整えています。充実した指導体制・研修管理体制・教育資源を持つ大学病院と、common disease を中心に数多くの症例を経験できる協力型市中病院の両方の利点を取り入れた当院の研修プログラムは、研修医ごとに希望に合わせて組まれており、一人として同じ内容はありません。また、専門医の取得や大学ならではの研究医の養成、海外留学制度、出産育児支援の充実など、臨床研修の先のキャリアの広がりも当院の研修の魅力です。ぜひ、医師としての第一歩を筑波大学附属病院で踏み出し、自分の目指すキャリアを実現させてください。



臨床研修一般プログラム修了者
目良　渉

筑波大学附属病院の研修プログラムの魅力はローテーションの幅広さと自由度の高さだと思います。診療科と関連病院が豊富にあり、どの診療科を回るか、いつ回るか、どこの病院で回るかまで含めた柔軟性があります。進路を内科系で考えていましたが、どの診療科に進むか迷っていました。特に興味があった腎臓内科、代謝内科、膠原病内科を大学病院と市中病院で両方回ることができました。
大学病院では希少な疾患や他科との連携が必要な症例が豊富で、カンファレンスやその準備を通じて学びが深まりました。市中病院では多くの手技を経験させていただいたり、多様な common disease の症例を経験したりすることができました。この経験により、将来の働き方のイメージを持つこともできました。2年間を振り返って、今後の糧となる充実した研修生活だったと考えています。



12 筑波メディカルセンター病院

病院の概要

開設	1985 年２月
開設者	公益財団法人筑波メディカルセンター
院長名	河野　元嗣
病床数	408床
標榜科（25科）	総合診療科、救急診療科、小児科、整形外科、循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科、脳神経内科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、腎臓内科、消化器外科、乳腺外科、泌尿器科、婦人科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科、病理診断科、糖尿病・内分泌代謝内科、病理科、放射線治療科、感染症内科、緩和医療科
医師数	148人（常勤）
指導医数	74人（常勤）
研修医数	38人（基幹型 22人、協力型16人）
研修医の主な出身大学	筑波大学、秋田大学、山形大学、獨協医科大学、岩手医科大学、旭川医科大学、群馬大学、東京科学大学、杏林大学、富山大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学、北京大学、セゲド大学
外来患者数	454人／日
入院患者数	305人／日
時間外・休日労働時間上限の適用水準	A水準、B水準、C-1水準（2026年4月現在） ※臨床研修医はA水準（年間960時間上限）となります



募集要項

応募資格	2027 年３月国家試験合格見込者もしくは、医師臨床研修マッチングに参加資格を有する者
採用人数	12 名（予定）
試験日程	2026 年８月（予定）
選考方法	面接、書類、適性検査（予定）
処遇	■身　分：正職員（臨床研修科） ■給　与：1年次基本給30万円　その他諸手当等を含む年収約540万円（時間外勤務手当は別途支給） 2年次基本給33万円　その他諸手当等を含む年収約680万円（時間外勤務手当は別途支給） ■社会保険：有り ■そ の 他：住宅手当／月額 23,000 円上限
見学	随時受付（土日祝日・12/28 ～ 1/4 除）

応募・問合せ先

筑波メディカルセンター病院

〒 305-8558　つくば市天久保 1−3−1
担当者：総務部人事課（教育研修管理室）
ＴＥＬ：０２９−８５１−３５１１（代）
ＦＡＸ：０２９−８５８−２７７３
E-mail：kensyu@tmch.or.jp
ＵＲＬ：https://www.tmch.or.jp/recruitment/junior-resident/index.html



〈電車・バスをご利用の場合〉

■つくばエクスプレス：つくば駅下車
・つくばセンターから筑波大学循環バス（右回り・左回り）乗車（所要時間約５分）、「筑波メディカルセンター前」下車　徒歩３分
・タクシー約３分
・徒歩約 20 分

■常磐線：土浦駅下車
・駅前西口から筑波大学中央行・石下行に乗車し、「筑波メディカルセンター前」下車（所要時間約 35 分）
・タクシー約 20 分（土浦駅より約 10km）

■常磐線：荒川沖駅下車
・駅前西口から筑波大学中央行に乗車し、「筑波メディカルセンター前」下車（所要時間約 35 分）
・タクシー約２０分（荒川沖駅より約 10km）

■常磐線高速バス特急つくば号
・東京駅八重洲南口バスターミナルより、「筑波大学」行き乗車（所用時間約１時間10 分）「筑波大学病院」下車　徒歩３分

病院見学対応状況

■見学時間…随時（平日）
■対象…全学年
■宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
■問い合わせ先
担当者：総務部人事課（教育研修管理室）
TEL：029-851-3511
E-mail：kensyu@tmch.or.jp

育児支援等

筑波メディカルセンター病院では、女性が働きやすい環境を第一に考え、産休、育児休暇、育児短時間勤務、当直免除等の制度を整備しています。

また、保育園・病児保育室も完備し、育児しながら働く場の提供を行っています。近年では男性医師の育児休業取得も進んでおり、性別を問わず柔軟に制度を活用できる風土が根付いています。

研修プログラムの特色

1.救命救急センター、茨城県地域がんセンター、地域医療支援病院の特徴を活かし、基礎的臨床能力を修得するための研修
2.救命救急センターにおける救急医療、common diseaseを中心とした臨床研修
3.研修計画は希望を重視し、選択研修として当院及び協力型病院の希望診療科をローテート可能
4.病院の機能や他職種の役割を理解するための院内各部署によるオリエンテーションを研修開始時に実施
5.基本的臨床技術の評価と技術向上のための「研修医メディカルラリー」の実施
6.プレゼンテーション能力および学術活動能力向上のための「研修医症例発表会」「研修医学術集会」の開催

研修スケジュール例

４月当初は全体オリエンテーションから開始します。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急			選択	外科	
2年次	精神	地域	選択		小児		選択		産婦人科		選択	

●内　　科（必修）24 週間（６ヵ月）主に入院患者の検査・治療を中心に臨床医として必要な基本的スキルを習得する。
●外　　科（必修）　８週間（２ヵ月）主に入院患者の診療と手術参加を通して、基本的な診療スキルと手術適応や外科的手技、周術期管理などについて習得する。
●小 児 科（必修）　８週間（２ヵ月）外来診療および入院患者の診療を通して、診察方法、基本的検査の選択と評価、治療手技、薬用量、小児保健などについて習得する。
●産婦人科（必修）　８週間（２ヵ月）協力病院での院外研修。
●精 神 科（必修）　４週間（１ヵ月）協力病院での院外研修。
●救　　急（必修）12 週間（３ヵ月）主な救急疾患の病態を理解し、救急現場で最も適切な処置を迅速・確実に実施するために必要な基本的スキルを習得する。
●地域医療（必修）　４週間（１ヵ月）協力施設である複数の診療所での地域医療の現場を経験する。外来研修や在宅医療研修を行う。
●外来研修（必修）　４週間（20 日間）院内の内科研修、小児科研修、および地域医療研修期間での並行研修を予定。
○選　　択　　28 週間（７ヵ月）院内および協力病院での自由選択研修。

専門研修の募集について

「内科」「救急科」「総合診療科」で専攻医を募集しております。
詳細はホームページをご参照ください。

募集診療科	選考方法
内科・救急科・総合診療科	面接

研修・認定施設一覧

・日本内科学会認定医教育関連病院
・日本外科学会外科専門医制度修練施設
・日本救急医学会指導医指定施設
・日本救急医学会救急科専門医指定施設
・日本外傷学会外傷専門医研修施設
・日本航空医療学会認定指定施設
・日本臨床腫瘍学会認定研修施設
・日本がん治療認定医機構認定研修施設
・日本緩和医療学会認定研修施設
・日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
・日本核医学会専門医教育病院
・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
・日本アレルギー学会認定教育施設（呼吸器内科・小児科）
・日本小児科学会小児科専門医研修施設
・日本脳神経外科学会専門医研修施設
・日本脳卒中学会認定研修教育病院
・日本神経学会専門医准教育施設
・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
・日本心血管インターベンション治療学会研修施設
・日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設
・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
・関連 11 学会構成ステントグラフト実施基準管理委員会
腹部・胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
・日本呼吸器学会認定施設
・呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医基幹施設
・日本呼吸器内視鏡学会専門医認定施設
・日本乳癌学会認定医・専門医認定施設
・マンモグラフィ検診精度管理中央委員会マンモグラフィ（乳房エックス線写真）検診施設
・日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会エキスパンダー実施施設（一次再建）・インプラント実施施設（一次一期再建）
・日本消化器病学会専門医認定施設
・日本消化器内視鏡学会専門医指導施設
・日本消化器外科学会専門医修練施設
・日本大腸肛門病学会認定施設
・日本消化管学会胃腸科指導施設
・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設基幹教育施設
・日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
・日本整形外科学会専門医研修施設
・日本リハビリテーション医学会研修施設
・日本手外科学会手外科専門医関連研修施設
・日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
・日本病理学会病理専門医研修認定施設 B
・日本臨床検査医学会臨床検査専門医認定研修施設
・日本臨床細胞学会教育研修施設
・日本臨床細胞学会施設認定
・日本感染症学会連携研修施設
・日本環境感染学会認定教育施設
・日本静脈経腸栄養学会 NST（栄養サポートチーム）稼働施設
・日本栄養療法推進協議会 NST（栄養サポートチーム）稼動施設
・日本脈管学会認定研修関連施設
・日本腹部救急医学会腹部救急認定医教育医制度認定施設

病院からメッセージ



プログラム責任者
齊藤　久子　専門部長

当院の臨床研修の理念は「いかなる状況でも目の前の患者さんと真摯に向き合える医師を養成する」です。けがや病気の方を助けたいという気持ちは医師を目指す誰もが持っていると思いますが、‘いかなる状況でも‘‘真摯に向き合う’ためには、自分自身が健康で人として成長し、その上に医学の知識と経験、また自分の能力を知り他スタッフとどう連携できるか瞬時に判断する冷静さやコミュニケーション能力が必要です。当院では、この理念のもと、病院全体、多職種一丸となって研修医の育成に力を入れています。

当院は救命救急センターや地域がんセンターを有する地域中核病院で、メディカルラリーや学術集会、勉強会など教育は充実しています。全国から研修医は集まっており、進路も救急医療から基礎医学まで様々です。

是非一度見学に来てください!



研修医
小椋　萌

筑波メディカルセンター病院は上級医やコメディカルからの指導が丁寧で、この環境でなら知識・技術ともに今後の基盤となる力をつけられると信じて研鑽に励んでいます。実際に経験できる症例や手技も豊富で、実践しながら学ぶことができます。

また、週に１度の勉強会、年に２回の研修医向けイベントなど、日常業務にとどまらず学びの場所が提供されています。

この充実した研修内容を求めて、当院には国内外からやる気と志のある研修医が集います。そんな仲間に囲まれて2年間を過ごすことができるのも魅力の１つです。

学ぶことが好き、自分の能力を高めたい、そんな意欲ある皆さんはぜひ一度見学にお越しください！



13 筑波学園病院

病院の概要

開設	1975 年７月
開設者	一般財団法人　筑波麓仁会
院長名	五本木　武志
病床数	331 床
標榜科（34科）	内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、内分泌内科、心療内科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻咽喉科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、リウマチ・膠原病内科、精神科、整形外科、脳神経外科、形成外科、外科、消化器外科、肛門外科、乳腺外科、救急科、心臓血管外科、内分泌外科、歯科口腔外科、血管外科、集中治療科
医師数	64 人（常勤）
指導医数	36 人（７年目以上：58 人）
研修医数	11 人（協力型病院研修医含む）
研修医の主な出身大学	筑波大学、東海大学、北里大学、東北医科薬科大学、浜松医科大学、日本大学、新潟大学、千葉大学
外来患者数	820人／日
入院患者数	182人／日
時間外・休日労働時間上限の適用水準	A水準（2026年4月現在）



応募・問合せ先

筑波学園病院

〒 305-0854　茨城県つくば市上横場 2573−1
担当者：人事部　藤島
ＴＥＬ：０２９−８３６−１２８６（直通）
ＦＡＸ：０２９−８３６−１９１８
E-mail：jinji@gakuen-hospital.or.jp
ＵＲＬ：https://www.gakuen-hospital.or.jp



■つくばエクスプレス：
みどりの駅より農林団地中央行（農林団地循環）谷田部車庫下車
つくば駅（つくばセンター）より牛久駅西口行　谷田部車庫下車
■ＪＲ常磐線：
土浦駅より水海道駅行　筑波学園病院前下車
または谷田部車庫行　谷田部車庫下車
牛久駅より谷田部車庫行　谷田部車庫下車
■関東鉄道常総線：
水海道駅より土浦駅行　筑波学園病院前下車
■筑波大学より：牛久駅西口行　谷田部車庫下車
■コミュニティバス：
つくバス南部シャトル N03 谷田部車庫下車
■常磐道：谷田部インターより　約 10 分
桜土浦インターより　約 15 分
■圏央道：つくば中央インターより　約 10 分

募集要項

応募資格	2027 年３月国家試験合格見込者
採用人数	5 名（予定）
試験日程	2026 年８月頃（予定）
選考方法	面接、小論文
処遇	■ 身　　分：医員（研修医） ■ 給　　与：1年次基本給331,500円 その他諸手当等を含む年収約476万円 2年次基本給341,900円 その他諸手当等を含む年収約524万円 ■ 社会保険：有り ■ 宿　　舎：有り（単身者用）

病院見学対応状況

■ 見学時間…随時（平日）
■ 対象…全学年
■ 宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
■ 問い合わせ先
担当者：人事部 藤島
TEL：029-836-1286（直通）
E-mail：jinji@gakuen-hospital.or.jp

育児支援等

妊婦・出産・育児のための支援制度

■ 育児短時間制度
■ 院内保育所の設置
■ 育児休業
■ 病児保育
■ 短時間正職員制度
■ 産前産後休暇
■ 出産祝金
■ 夜間保育

研修プログラムの特色

１年次においては基本研修をしっかりと学び、２年次において自由選択研修を行う。特に２年次に関しては自由選択研修において多様な各科プログラムを選択でき、希望によりスーパーローテイトができる。また、地域医療においては同法人内施設による在宅医療の研修や、周辺地域の開業医での研修など研修医の希望に応じて研修が実施できる。

研修スケジュール例

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急部門（麻酔科含む）			外科	小児科	産婦人科
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年次	精神科	地域医療	選択科									

備考：●一般外来は内科・外科・小児科において並行研修
●CPC は当院にて実施。
●選択科目
【当院内で可能な診療科】腎臓内科、呼吸器内科、外科（乳腺内分泌外科、形成外科含む）、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、消化器内科、循環器内科、リウマチ・膠原病内科
【当院外での研修】代謝内科、血液内科、神経内科、脳神経外科、心臓血管外科、放射線科
●救急当直は研修期間の２年間を通して行う。 約４回／月

専門研修の募集について

専門研修については、筑波大学の専門研修連携施設としてプログラムに参加しています。
詳細については各プログラムを参照してください。

研修・認定施設一覧

・日本腎臓学会研修施設
・日本呼吸器学会認定施設
・日本透析医学会認定施設
・日本老年医学会研修施設
・日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
・日本小児科学会小児科専門医研修施設
・日本麻酔科学会麻酔科認定施設
・日本外科学会外科専門医制度修練指定施設
・日本乳癌学会乳腺専門医関連施設
・日本整形外科学会整形外科専門医研修施設
・日本形成外科学会認定教育関連施設
・日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
・日本泌尿器科学会泌尿器専門医拠点教育施設
・日本耳鼻咽喉学会耳鼻咽喉科専門医研修施設
・日本眼科学会眼科専門医制度研修施設
・日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
・日本内科学会認定医教育関連病院
・日本がん治療認定医機構認定研修施設
・日本内分泌外科学会・日本甲状腺外科学会専門医認定（関連）施設
・日本生殖医学会指定生殖医療専門医制度認定研修施設
・日本消化器外科学会認定専門医修練施設
・日本甲状腺学会専門制度認定専門医施設
・日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設

病院からメッセージ



臨床研修委員会 委員長
小川　良子

筑波学園病院はCommon Diseaseの救急を幅広く受け入れている二次救急指定病院です。
臨床研修医には１年目の最初から１年通して週半日〜１日の日中の救急外来の1stタッチの当番＋当直や休日診療を経験する仕組みになっており、継続的に救急の経験をすることで幅広いケースの経験を積んで成長していけます。最初はすべて指導医と一緒にやっている研修医も1年が終わるころには自分からいろいろ出来るようになります。内科は循消呼腎膠の専門医がおりそれぞれの分野の専門的な診療の経験ができる他、整形・耳鼻・泌尿・形成・眼などいわゆるマイナー外科や麻酔科がそろっており、様々な分野の研修が可能です。必修診療科としては精神科・地域医療以外の内科・外科・救急・産婦・小児をすべて自施設で経験することが可能であり、アットホームな環境で研修できます。また、筑波大学附属病院や三次救急病院と連携しており、より専門的な研修や進路をふまえた研修を連携施設で行うことが可能です。医師になって最初の2年間は非常に大事な時期です。目標をもって成長してほしいと思っており、我々は全力でサポートしていきたいと思います。



研修医
吉田　達見

当院の臨床研修は、経験豊かな指導医の下で、研修医が主体的に診療に関わることが特徴です。各科ローテーションでは、病棟管理や外来診察、オンコール対応に加え、処置や手術参加を行いますが、研修医のやる気さえあれば何でもやらせてもらえます。また当直や日中の救急対応では、指導医のサポートの下で診察から診断、治療までの一連の流れを担当するため、臨床推論の力を鍛えることができます。さらにローテーションに関して、筑波大学や近隣の市中病院とのたすき掛けが可能な点が魅力で、各研修医の希望に応じたオーダーメイドな研修を行うことができます。のびのびとした環境で実践経験を多く積みたい方は、ぜひ見学にいらしてください。



14 東京医科大学茨城医療センター

病院の概要

開設	1948 年
開設者	学校法人 東京医科大学
院長名	柳田　国夫
病床数	445床（許可病床）、398 床（稼働病床数）
標榜科（26科）	内科、呼吸器内科、消化器内科、代謝内分泌内科、腎臓内科、循環器内科、脳神経内科、精神科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理診断科
医師数	127人
指導医数	62人
研修医数	19人
研修医の主な出身大学	東京医科大学　他
外来患者数	729.4人／日
入院患者数	324.7人／日
時間外・休日労働時間上限の適用水準	A水準、B水準、連携B水準（2026年4月現在） ※臨床研修医はA水準（年間960時間上限）となります



応募・問合せ先

東京医科大学茨城医療センター

〒 300-0395　茨城県稲敷郡阿見町中央 3-20-1
担当者：卒後臨床研修センター　事務局
ＴＥＬ：０２９－８８７－１１６１（代表）
ＦＡＸ：０２９－８８７－１３５５
E-mail：ksotsugo@tokyo-med.ac.jp
ＵＲＬ：https://ksm.tokyo-med.ac.jp/sotsugo/



■電車をご利用の場合車
　ＪＲ常磐線　土浦駅よりバス　15 分
　ＪＲ常磐線　荒川沖駅よりバス 15 分

■車（常磐自動車道）をご利用の場合
　桜土浦インターより6km

募集要項

応募資格	原則として第 121回医師国家試験を受験する者、あるいは医師国家試験に合格し、新たに臨床研修を行う者
採用人数	10 名（予定）
試験日程	（予定）2026年8月
選考方法	（予定）筆記試験（医学）、面接
処遇	■身　　分：常勤医師 ■給　　与：1年次基本給30万円　その他諸手当等を含む年収約470万円（時間外勤務手当は別途支給） 2年次基本給30万円　その他諸手当等を含む年収約490万円（時間外勤務手当は別途支給） ■社会保険：東京医科大学健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険 ■宿　　舎：有り（単身用・世帯用）

病院見学対応状況

■ 見学時間…随時（平日）
■ 対象…全学年
■ 宿泊…研修医宿舎に宿泊可能
　（無料・要確認）
■ 問い合わせ先
　担当者：卒後臨床研修センター 事務局
　TEL：029-887-1161（代表）
　E-mail：ksotsugo@tokyo-med.ac.jp

育児支援等

■ グランドカンファレンス・症例検討会の参加率基準の免除
■ 院内保育所（ひまわり）の完備
■ メンター制度と卒後臨床研修センターの充実したサポート体制
■ 臨床研修中に出産育児を行った研修医２名実績あり

研修プログラムの特色

※2026年度プログラムについては、現在、検討中です。プログラムが確定次第、当センターホームページに掲載いたします。

1.少数精鋭のプログラム
研修医の募集定員は、１学年 10 名（予定）です。当センターの病床数、指導医数から考えると少ないかもしれません。しかしこの定員だからこそ、温かい雰囲気の中できめ細やかな寺子屋式指導が可能です。

2.基本的初期診療の修得
豊富な症例数の下、スーパーローテーション方式で主要科を研修します。また２年間の研修期間を通じ ER 当直を行い、実践的プライマリ・ケアの修得が可能です。

3.一人ひとりのキャリア形成に則した研修
２年次には幅広い選択肢を用意しており、キャリア形成を意識したローテーションを選択できます。

4.屋根瓦式教育体制
豊富な指導医の下、専攻医が臨床研修医を、臨床研修医２年次が１年次を、臨床研修医が１年間を通して実習している医学生に指導する屋根瓦式教育体制を実施しています。「教えることは、学ぶこと」を日頃から実践して、臨床能力を高めることが可能です。

5.充実したサポート体制
生き生きとした研修生活を送れるよう、卒後臨床研修センターが全面的にバックアップします。研修医一人ひとりにメンターが付き、相談役として研修生活とキャリア形成をサポートします。

研修スケジュール例

【基本】ローテーションイメージ
救急：院内　１年次２か月+2 年次 1 か月　※研修時期は異なります

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
１年次	内科	内科	外科	選択	麻酔	救急（院内）	外科	小児	産婦人科	選択	内科	内科
	必修	必修	必修	選択	必修	必修	必修	必修	必修	選択	必修	必修
２年次	精神	地域医療	救急（院内）	選択	選択	選択	選択	内科	内科	選択	選択	選択
	必修	必修	必修	選択	選択	選択	選択	必修	必修	選択	選択	選択

※原則として ２ 年次に地域医療を研修すること。
※原則として、内科においては 24 週以上、救急部門においては 12 週以上、外科 8 週以上、小児科、産婦人科、精神科及び地域医療においてはそれぞれ ４ 週以上の研修を行うこと。

内　　科：呼吸器、消化器、循環器、腎臓、代謝内分泌、脳神経、総合診療
外　　科：呼吸器、消化器、脳神経、整形、泌尿器、乳腺
救　　急：当院、筑波メディカルセンター病院、水戸済生会総合病院、水戸医療センター
小 児 科：当院、東京医科大学病院、土浦協同病院（2か月）、日立総合病院
産婦人科：当院、筑波大学附属病院（2か月）、日立総合病院
精 神 科：宮本病院
地域医療：北茨城市民病院、土浦ベリルクリニック、あみ東クリニック　等
選択科目：当院、東京医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター、茨城県立中央病院、筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、ひたちなか総合病院、筑波記念病院、牛久愛和総合病院（以上9施設は全科）、茨城県立医療大学付属病院、土浦協同病院、宮本病院　等

専門研修の募集について

※詳細は当センター ホームページをご覧ください

募集診療科				選考方法
◆基幹施設				書類選考 面接
・内科専門医プログラム	定員５名（予定）	・病院総合診療専門医プログラム	定員１名（予定）	
・皮膚科研修プログラム	定員２名（予定）	・新・家庭医療専門研修単独プログラム	定員１名（予定）	
・麻酔科専門研修プログラム	定員２名（予定）	・総合診療専門医、新・家庭医療専門研修連動プログラム	定員１名（予定）	
・眼科専門研修プログラム	定員１名（予定）	・病院総合医プログラム	定員２名（予定）	
・総合診療専門医プログラム	定員12名（予定）			
・放射線科専門研修プログラム	定員２名（予定）			

◆連携施設
16の基本領域についても、連携施設として専攻医の受入れを行います。
内科、外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、病理診断科、救急科、形成外科、皮膚科、整形外科、小児科、放射線科、精神科、眼科、脳神経外科、麻酔科

研修・認定施設一覧

・日本内科学会	認定施設/認定医制度教育病院	・呼吸器外科専門医合同委員会（日本呼吸器外科学会、日本胸部外科学会）	基幹施設	・日本腎臓学会	認定施設/研修認定施設	・日本救急医学会	専門医指定施設
・日本外科学会	修練施設/専門医制度修練施設	・日本内視鏡学会	指導施設	・日本透析医学会	認定施設	・日本腹部救急医学会	腹部救急認定医・教育医制度認定施設
・日本がん治療学会	暫定認定施設	・日本気管食道科学会	専門医研修施設	・日本アフェレシス学会	認定施設		
・日本がん治療認定医機構	認定研修施設	・日本循環器学会	専門医研修施設	・日本整形外科学会	専門医研修施設	・日本医学放射線学会	専門医修練機関
・日本臨床腫瘍学会	認定研修施設	・日本心血管インターベンション治療学会	研修関連施設	・日本形成外科学会	認定施設	・日本麻酔科学会	認定施設・指導病院
・日本神経学会	教育施設	・日本消化器外科学会	専門医修練施設	・日本手外科学会	研修施設	・日本集中治療医学会	専門医研修施設
・日本精神神経学会	認定施設	・日本消化器病学会	認定施設	・日本産婦人科学会	専攻医指導施設	・日本急性血液浄化学会	認定指定施設
・日本老年精神医学会	認定施設	・日本消化器内視鏡学会	指導施設	・日本婦人科腫瘍学会	専門医制度指定修練施設	・日本睡眠学会	認定施設
・日本認知症学会	教育施設	・日本消化器集団検診学会	認定指導施設	・日本眼科学会	研修施設	・日本口腔外科学会	認定研修施設
・日本内分泌学会	認定教育施設	・日本肝胆膵外科学会	高度技術専門医修練施設	・日本耳鼻咽喉科学会	専門医研修施設	・日本顎顔面インプラント学会	研修施設
・日本脳神経外科学会	認定施設	・日本膵臓学会	指導施設	・日本鼻科学会	鼻科手術認可研修施設	・日本顎関節学会	顎関節症専門医研修施設
・日本脳卒中学会	認定施設／認定研修教育病院／一次脳卒中センター	・日本大腸肛門病学会	認定施設	・日本泌尿器科学会	専門医教育認定施設	・日本有病者歯科医療学会	研修施設
・日本呼吸器学会	認定施設	・日本胆道学会	指導施設	・日本乳癌学会	認定施設	・感染症の予防の髪previous症に係る医療機関	承諾施設
・日本プライマリケア学会	研修認定施設	・日本肝臓学会	認定施設	・日本感染症学会	研修施設	・認定輸血検査技師制度	指定認定施設
・日本アレルギー学会	アレルギー専門医教育研修施設	・日本胃癌学会	認定施設B	・日本皮膚科学会	専門医研修施設	・認定臨床検査技師制度協議会	研修施設
		・日本炎症性腸疾患学会	指導施設	・日本病理学会	研修登録施設	・日本乳房オンコプラスティックサージェリー学会	エキスパンダー実施施設
		・日本糖尿病学会	教育施設	・日本臨床細胞学会	教育研修施設	・日本乳房オンコプラスティックサージェリー学会	インプラント実施施設

病院からメッセージ



研修責任者
屋良　昭一郎　卒後臨床研修センター長

東京医科大学茨城医療センターは病院全体で研修医の教育に取り組みます。当院は二次救急医療機関であるため、多発外傷や重症熱傷などの症例は少ないですが、common diseases の臨床経験を積み上げるには最良の環境です。２ 年間を通して救急外来の診療があり、病歴聴取、身体診察をはじめ、各種検査を自らの判断で遂行することによって骨太の臨床力が身に付きます。またそれらをサポートする先輩研修医と指導医の熱意、看護師、コメディカルの協力体制は当院が誇るものです。２ 年という短い時間に集中して力を付けることのできる当院の研修は自信をもって勧められるものです。ぜひ一度見学にいらしてください。



研修医
小西　宏太

当初は研修医としてどこまで任せてもらえるのか、またこの大学出身ではないことから不安もありました。しかし、実際に研修を始めてみると、当院の魅力は「雰囲気の良さ」に尽きると感じています。上級医や医療スタッフとの距離が近く、日常的に相談しやすいため、過度に緊張することなく安心して診療に向き合うことができます。また、様々な大学出身の研修医や指導医が在籍しており、多様な考え方や視点に触れられる点も魅力です。指導医のサポートの下、主体的に診療や手技に関わる機会も多く、温かい環境の中で着実に成長できる研修先だと思います。ぜひ一度見学に来てこの雰囲気を実際に感じてみてください。



15 牛久愛和総合病院

病院の概要

開設	1978年11月
開設者	医療法人社団 常仁会
院長名	瀬下　明良
病床数	489床
標榜科（34科）	内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、内分泌内科、心療内科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻咽喉科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、リウマチ・膠原病内科、精神科、整形外科、脳神経外科、形成外科、外科、消化器外科、肛門外科、乳腺外科、救急科、心臓血管外科、内分泌外科、歯科口腔外科、血管外科、集中治療科
医師数	70人
指導医数	17人
研修医数	12人
研修医の主な出身大学	東京医科大学、東邦大学、大分大学、筑波大学、東京科学大学、福井大学、旭川医科大学、鹿児島大学、杏林大学、山形大学、北里大学　等
外来患者数	677.8人／日
入院患者数	345.5人／日
時間外・休日労働時間上限の適用水準	A水準（2026年4月現在）



応募・問合せ先

牛久愛和総合病院

〒300-1296　茨城県牛久市猪子町896
担当者：人事部
ＴＥＬ：０２９－８７３－３１１１
ＦＡＸ：０２９－８７４－１０３１
E-mail：recruit@jojinkai.com
ＵＲＬ：https://www.jojinkai.com



■電　車：常磐線牛久駅東口より病院バスで10分
■お　車：常磐道～つくばＪＣＴ経由
　　圏央道つくば牛久I･Cより５分

募集要項

応募資格	2027 年３月国家試験合格見込者
採用人数	6名（予定）
試験日程	2026 年８月（予定）
選考方法	面接
処遇	■身　　分：常勤職員 ■給　　与：1年次400,000円　その他諸手当等を含む年収約540万円 （時間外勤務手当は別途支給） 2年次425,000円　その他諸手当等を含む年収約609万円 （時間外勤務手当は別途支給） ■住宅手当：月40,000円補助 ■社会保険：加入

病院見学対応状況

■見学時間…随時（月～金）
■対象…全学年
■宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
■問い合わせ先
担当者：人事部
TEL：029-873-3111
FAX：029-874-1031
E-mail：recruit@jojinkai.com

育児支援等

■出産・育児休暇…取得実績あり
■院内保育所…24時間保育実施（０歳児より可）

研修プログラムの特色

○**常に指導医とマンツーマンの体制にある。**
研修中は、常に指導医の管理下で研修を行う様に配慮し、指導医から研修医、また、研修医から指導医に意思の疎通が図られるようにしています。

○**プライマリーケア研修を重視**
地域の患者様との関わり方を重視し、市中病院ならではの医師としての原点を考える研修ができます。

○**CPCを病院単独で開催している。**
研修医として、密度の高いCPC等へ参加ができます。（定期１回／月）

研修スケジュール例

	1年目												2年目											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
基本プログラム	内科						救急			外科		小児科	産婦人科	精神科	地域医療	選択科								
一般外来　並行研修可能	総合診療○／専門外来×						×			○		○	×	×	○	診療科による								

※選択科目（２年次）：牛久愛和総合病院　又は　協力型病院
協力型病院：東京女子医科大学附属足立医療センター（選択科・救急科・小児科）、筑波大学附属病院（選択科）、筑波学園病院（小児科・産婦人科）、東邦大学医療センター大森病院・大橋病院・佐倉病院（選択科）、総合母子保健センター愛育病院（産婦人科）、みやざきホスピタル（精神科）、東京医科大学茨城医療センター（必修科・選択科）、神立病院（地域医療）、さくら台土肥クリニック（地域医療）、つくばセントラル病院（産婦人科）、宮崎医療センター病院（内科、外科、選択科）、茨城県立医療大学付属病院（地域医療）

専門研修の募集について

内科や外科、その他の診療科においても、筑波大学附属病院や東京女子医科大学病院の連携施設となっておりますので、様々な診療科で研修が可能です。

研修・認定施設一覧

・臨床研修指定病院
・地域災害拠点病院
・DMAT指定医療機関
・病院機能評価認定　第JC714-4号一般病院２
・日本救急医学会　指導医指定施設
・日本内科学会　認定医制度教育病院
・日本整形外科学会　専門医制度研修施設
・日本外科学会　外科専門医制度修練施設
・日本消化器内視鏡学会　専門医制度指導連携施設
・日本麻酔科学会　麻酔科認定病院
・日本血液学会　専門研修認定施設
・日本脳卒中学会　専門医認定制度研修教育病院
・日本腎臓学会　研修施設
・日本形成外科学会　教育関連施設
・日本熱傷学会　熱傷専門医認定研修施設
・日本乳癌学会　認定医・専門医制度関連施設
・日本透析医学会　専門医制度認定施設
・日本眼科学会　専門医制度研修施設
・日本大腸肛門病学会　認定施設
・日本消化器病学会　認定施設
・日本糖尿病学会　認定教育施設
・日本脳神経外科学会　専門医研修プログラム研修施設
・日本消化器外科学会　専門医制度指定修練施設
・日本循環器科学会　研修施設
・日本心血管インターベンション治療学会　研修関連施設
・日本超音波医学会　超音波専門医研修施設
・日本泌尿器科学会　関連教育施設
・下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設
・腹部救急認定医・教育医制度　認定施設
・茨城県肝疾患専門医医療機関
・NCD（National Clinic Database）施設会員
・茨城県指定　地域リハ・ステーション
・国土交通省重度後遺障害者短期入院協力病院
・日本病院会短期人間ドック指定医療機関
・厚生労働大臣認定 健康増進施設『スポーツ・リラックス』
・日本口腔外科学会　認定研修施設
・日本アフェレシス学会　認定施設
・日本神経学会　専門医制度准教育施設
・日本リウマチ学会　教育施設
・日本リウマチ学会　膠原病・リウマチ内科領域基幹施設
・日本IVR学会　専門医修練施設
・日本ステントグラフト実施基準管理委員会　腹部ステントグラフト実施施設
・日本医学放射線学会　放射線科専門医修練機関
・日本病理学会　研修登録施設
・日本脊髄病学会　椎間板酵素注入療法実施可能施設
・日本呼吸器学会　専門研修制度連携施設

病院からメッセージ



研修責任者
石津　隆　副院長（兼 臨床研修管理委員長）

当院は中規模の民間病院であるため、国公立病院や大規模な病院よりも自由度が高く、一人ひとりの希望に沿った研修を積むことができます。研修プログラムはかなり融通が利き、途中で変更することも可能です。診療においては、地域の中核病院として高齢者医療から救急医療まで担っているため、幅広い疾患を経験することができます。指導医がマンツーマンで指導を行い、少人数制のため十分な診療手技を経験・習得することができると考えます。病院のチームの一員として積極的に診療に参加してもらい、指導医が見守りながらきめ細かくフォローしていきます。

また、診療科の垣根が低く、院内の雰囲気も非常に良いため仕事がしやすい環境であることも自慢です。垣根が低いことは、他科の医師に相談しやすいだけでなく、ローテーションしていない診療科医師からも貴重な症例があれば「一緒に診ようよ」と声掛けられるアットホームな環境です。是非一度見学をして、当院のアットホームな雰囲気を感じてください。



研修医
一色　紗茜

当院は地域に根付いた基幹型病院であり、特徴として common disease を中心に救急に力を入れております。当院は都心とやや離れたゆっくりとした時間の流れがありながら、都内まで電車で 40 分、横浜一上野間と変わらない時間で都内にアクセスできる茨城県南に位置しています。研修では余裕を持ってひとりひとりの患者さん、一つ一つの症例に向き合うことができ、自分の興味がある症例や手技・手術があった際は科に関係なく治療に携わることができます。

そしてなにより圧倒的な雰囲気の良さ。科の垣根が低く、相談もしやすく、伸び伸びと研修を行うことができます。ぜひ一度見学にお越しいただければ嬉しいです。皆さんにぴったりの研修先とのご縁を願っています。



16 つくばセントラル病院

病院の概要

開設	1988年12月
開設者	社会医療法人　若竹会
院長名	金子　剛
病床数	313床
標榜科（22科）	内科、外科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、心療内科、脳神経内科、脳神経外科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、小児科、歯科、歯科口腔外科、眼科、精神科、皮膚科、麻酔科、放射線科、腫瘍放射線科、リハビリテーション科
医師数	85人
指導医数	41人
研修医数	11人
研修医の主な出身大学	筑波大学、東京医科大学、新潟大学、金沢大学、東北大学、富山大学、東京科学大学、東京大学、順天堂大学、熊本大学、秋田大学
外来患者数	315.7人／日
入院患者数	280.1人／日
時間外・休日労働時間上限の適用水準	A水準（2026年4月現在）



応募・問合せ先

つくばセントラル病院
〒300-1211　茨城県牛久市柏田町1589−3
担当者：総務課　髙野　匡規
ＴＥＬ：０２９−８７２−１７７１
ＦＡＸ：０２９−８７４−４７６３
E-mail：masaki.takano@central.or.jp
ＵＲＬ：https://www.central.or.jp



■ＪＲ常磐線牛久駅下車　バスで 10分
牛久駅東口より企業バスを運行
■圏央道つくば牛久ICより車で 15分

募集要項

応募資格	2027年3月国家試験合格見込者及び取得者
採用人数	7名（予定）
試験日程	2026年8月ごろから
選考方法	面接、小論文
処遇	■身　　分：正職員 ■給　　与：1年次41万円　2年次48万5,000円 時間外勤務手当は別途支給、その他諸手当あり ■社会保険：健康・厚生年金・雇用・労災 ■宿　　舎：有り ■そ の 他：住宅手当／無

病院見学対応状況

■見学時間…随時（平日・土）
■対象…全学年
■宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
■問い合わせ先
担当者：総務課 髙野
TEL：029-872-1771
FAX：029-874-4763
E-mail：masaki.takano@central.or.jp

育児支援等

■24時間対応託児所あり
■短時間正社員制度あり
■医師85人中33人が女性医師
■病児保育体制有
■産前産後育児休暇取得実績あり



研修プログラムの特色

1. 医療機能評価認定病院、緩和ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、県南透析医療の拠点病院、総合リハビリテーションセンター等の病院機能の特徴を活かし、始祖的な臨床能力を習得する。
2. 選択研修として希望診療科のローテートが可能。

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内　科						救　急			外科	選択必修	小児科
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	小児科	選択必修	産婦人科	地域	精神科		選　択					

※各研修医の研修計画によって診療科の順序は異なります。また、選択必修は、外科・麻酔科・小児科（院外）・産婦人科・精神科（院外）から選択
※院外：宮本病院（精神科）
筑波メディカルセンター病院（小児科・救急科）
筑波大学附属病院（全科）

専門研修の募集について

専門研修プログラムは提供しておりませんが、適切な進路指導をいたします。

研修・認定施設一覧

- 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本循環器学会研修関連施設
- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本腎臓学会認定教育施設
- 日本透析医学会認定施設
- 日本アフェレシス学会認定施設
- 日本リウマチ学会教育施設
- 日本緩和医療学会認定研修施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本麻酔科学会認定病院
- 日本脳神経外科学会連携施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本整形外科学会専門医研修施設
- 日本手外科学会認定研修施設
- 日本産科婦人科学会専攻医指導施設
- 日本眼科学会一般研修施設
- 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- 日本乳癌学会関連施設
- 日本口腔外科学会　認定准研修施設
- 日本口腔ケア学会　口腔ケアチーム認定施設
- 日本顎関節学会研修施設
- 日本有病者歯科医療学会認定歯科診療施設
- 日本口腔科学会研修施設
- 日本口腔診断学会研修施設

病院からメッセージ



理事長
金子　洋子

2年間の臨床研修は、医師としての骨格を作る重要な期間です。当院では、研修医の皆さんが患者様の視点を第一に置き、共に最適な医療を提供することをめざしています。総合的な診療活動を通して、幅広い医療スキルを修得できるようサポートします。上級医による密接な指導により確かな力をつけられるよう取り組んでいます。創業以来、「一人の人を大切にする医療」を実践する当院は、地域密着で、急性期、プライマリケア、そして専門的治療まで、幅広い高品質な医療の提供に努めています。救急医療、高精度放射線治療、透析医療、周産期、緩和ケア、リハビリテーション、在宅医療などの特色に加え、医療と介護がシームレスに連携する環境の中で、実践的な臨床研修を通して、皆さんの医師としての成長を全力で支援します。



研修医
田久保　和也

つくばセントラル病院は、慢性期疾患の患者様が多く入院されている病院です。疾患そのものだけでなく、生活背景や家族関係、退院後の暮らしまで含めて考える場面が多く、超高齢社会の日本で今後ますます求められる視点とスキルを養うことができます。一方で、救急搬送や急変対応についても「断らない病院」となることをスタッフ一人一人が意識しており、慢性期と急性期の両方をバランスよく身につけられることが特徴です。

研修中は、一人で診察を進める機会を得ながらも、自分だけでは対応が難しい場面では診療科の垣根を越えて、相談しやすく、快く助力してくださる先生方が多くいらっしゃいます。

茨城で患者さんに寄り添う医師を目指したい方は、ぜひ一度見学にいらしてください。



17 JAとりで総合医療センター

病院の概要



開設	1947年４月１日
開設者	茨城県厚生農業協同組合連合会
院長名	冨滿　弘之
病床数	414床（一般406床、感染８床）
標榜科（30科）	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、内分泌代謝内科、腎臓内科、脳神経内科、外科、消化器外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、救急科、麻酔科、歯科口腔外科、臨床検査科、膠原病・リウマチ科、小児外科、高齢者歯科
医師数	105人
指導医数	27人
研修医数	19人（基幹型11人、協力型8人）
研修医の主な出身大学	東京科学大学、筑波大学、慶應義塾大学、国際医療福祉大学、東京医科大学
外来患者数	1,059人／日
入院患者数	322人／日
時間外・休日労働時間上限の適用水準	A水準（2026年4月現在）

応募・問合せ先

JAとりで総合医療センター

〒302-0022　茨城県取手市本郷2−1−1
担当者：庶務課　関川
ＴＥＬ：０２９７−７４−５５５１（内線2357）
ＦＡＸ：０２９７−７４−２７２１
E-mail：toride@medical.email.ne.jp
ＵＲＬ：https://www.toride-medical.or. jp
応募方法：履歴書・大学推薦書を庶務課あてに郵送して下さい



■ＪＲ常磐線　取手駅西口
　関東鉄道バスＪＡとりで総合医療センター行き 約6 分
■常磐自動車道　谷和原ＩＣより約30分、谷田部ＩＣより約30分

募集要項

応募資格	2027年3月国家試験合格見込者
採用人数	６名（予定）
試験日程	2026年8月上旬（予定） 日時決定次第ホームページに掲載します
選考方法	書類選考、小論文、面接
処遇	■身　　分：常勤医師 ■給　　与：1年次基本給35万円　その他諸手当等を含む年収約540万円 （時間外勤務手当、日当直手当は別途支給） 2年次基本給45万円　その他諸手当等を含む年収約705万円 （時間外勤務手当、日当直手当は別途支給） （2025年12月1日現在） ■社会保険：厚生年金、健康保険、雇用保険加入 ■宿　　舎：住宅手当支給

病院見学対応状況

■見学時間…随時（平日）
■対象…５～６年生
■宿泊…近隣の宿泊施設をご利用いただいております。
■問い合わせ先
　担当者：庶務課　関川
　TEL：0297-74-5551（内線2357）
　E-mail：toride@medical.email.ne.jp

育児支援等

当院では常勤医師の約30%にあたる34人の女性医師が働いており附属保育所も設置しております。その他、女性専用の当直室を完備、規定に従った産休、育休が取得できます。



保育所

研修プログラムの特色

1. 1年目は臨床の基礎となる内科、外科、救急科を研修し、2年目は精神科、小児科、産婦人科、地域医療、一般外来の研修に加え、３年目以降に希望する診療科を鑑みた準備が出来るように選択科目を多くとってあります。
2. 三次救急施設ではありませんが、救急搬送患者を含む救急患者数は非常に多く、県内でも有数の救急医療に力をいれる病院です。特にCommon diseaseの救急から重症疾患まで幅広く救急医療を体験できます。
3. 指導体制は、指導医と研修医がマンツーマンで行っており、プライマリ・ケアの基本的診療能力を身に付けることができます。各診療科との連携及びコ・メディカルの協力体制は万全です。
4. 「いばらき夢チャレンジ臨床研修群プロジェクト」に参加、選択枠ではプロジェクトに参加する病院での研修が可能。

研修スケジュール例

１年次	内　　科（24週）			外科（8週）	選択科目（8週）	救急（12週）
２年次	小児科（4週）	産婦人科（4週）	精神科（4週）	地域医療一般外来（4週）	選　択　科　目（36週）

《選択科目》内科（呼吸器内科、脳神経内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、血液内科、内分泌代謝内科、膠原病・リウマチ内科）、外科、小児科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、救急科、麻酔科

いばらき夢チャレンジ臨床研修群プロジェクト参加病院
　茨城西南医療センター病院（境町）、霞ヶ浦医療センター（土浦市）、友愛記念病院（古河市）、JAとりで総合医療センター（取手市）

専門研修の募集について

新専門医制度では内科は独自のプログラムを持っています。その他の科については、東京科学大学、筑波大学などの連携施設として専門研修生が研鑽を重ねています。

研修・認定施設一覧

・日本内科学会認定医教育施設
・日本透析医学会教育関連施設
・日本腎臓学会研修施設
・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
・日本心血管インターベンション学会認定研修施設
・日本呼吸器学会認定施設
・日本神経学会教育施設
・日本消化器学会専門医制度認定施設
・日本消化器内視鏡学会認定指導施設
・日本大腸肛門病学会専門医修練施設
・日本外科学会外科専門医制度関連施設
・日本脳神経外科学会専門医訓練施設（C項）
・日本整形外科学会専門医制度研修施設
・日本産婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
・日本皮膚科学会認定専門医研修施設
・日本眼科学会専門医研修施設
・日本耳鼻咽喉科学会認定専門医研修施設
・日本病理学会認定施設
・日本病院会指定優良短期日本人間ドック施設
・日本核医学会専門医教育病院
・日本核医学会専門医教育機関
・日本静脈経腸栄養学会実地修練施設
・日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
・日本医学放射線学会専門医修練施設（診断・核部門）
・日本脳卒中学会認定研修教育病院
・日本リハビリテーション医学会研修施設
・日本IVR学会指導医修練施設
・日本がん治療認定医機構認定研修施設
・日本呼吸器内視鏡学会専門医認定施設
・日本救急医学会救急科専門医指定施設
・日本アレルギー学会準教育施設
・日本小児科学会小児科専門医研修施設
・日本周産期・新生児医学会暫定研修施設
・日本血液学会血液研修施設

病院からメッセージ



研修責任者
圓城寺　恩　外科部長

2年間の臨床研修に求めるものは人それぞれ、多様化してきています。自分の進む診療科が決まっていて関連分野の研修を重視する人も、一定の責任の下で医療を行いながら適性を見極める目的の人もいるでしょう。熱心な指導医、多くの症例、学術的な指導など重視するものも人それぞれと思います。

当院は地域中核病院として、急性期医療中心に幅広い診療科を網羅するとともに、大病院にはないフットワークが自慢です。良好な協力関係の下、近隣の医療機関での研修も経験できます。研修プログラムも柔軟性に富み、幅広い研修のニーズに応えることができると自負しています。私たちと一緒に、未来への一歩を踏み出しましょう。



研修医
熊谷　乃衣

当院は地域の中核病院であり、概ね全ての診療科を備えており、軽症から重症まで、また common disease から難しい症例まで幅広い症例を経験することができます。熱心で協力的な指導医のもと臨床研修医が積極的に診療に携わり、必要な手技を身に付けることができます。コメディカルのスタッフの方々も優しく、困った時にはいつも助けていただいています。当直は内科と外科に分かれて対応し、研修医がファーストタッチを行います。上級医からフィードバックやアドバイスを受けながら、数多くの症例を経験することで臨床能力を培うことができます。臨床研修医は15名ほどで、仲が良く和気藹々とした雰囲気です。相談し合ったり知識の共有をしながら、互いに支え合って日々研修しています。いつでも大歓迎ですので、気軽に見学にいらしてください。



18 総合守谷第一病院

病院の概要



開設	1990年４月
開設者	社会医療法人社団光仁会
院長名	遠藤　優枝
病床数	199床
標榜科（20科）	内科、心療内科、脳神経内科、小児科、外科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、眼科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、放射腺科、産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科
医師数	42人
指導医数	14人
研修医数	0人
研修医の主な出身大学	筑波大学
外来患者数	612.8人／日
入院患者数	163.6人／日
時間外・休日労働時間上限の適用水準	A水準（2026年4月現在）

募集要項

応募資格	2027年３月国家試験合格見込者
採用人数	2名（予定）
試験日程	2026年８月頃
選考方法	面接
処遇	■身　　分：常勤職員 ■給　　与：月額　350,000円 ■社会保険：完備 ■宿　　舎：有

応募・問合せ先

総合守谷第一病院

〒302-0102　茨城県守谷市松前台1−17
担当者：事務部　駒田
ＴＥＬ：０２９７−４５−５１１１
ＦＡＸ：０２９７−４５−５０５０
E-mail：komada@moriya.daiichi.or.jp
ＵＲＬ：https://www.moriya.daiichi.or.jp



■つくばTX守谷駅下車西口にて新守谷駅行き市内循環バス
15分松前台一丁目下車徒歩２分、
関東鉄道常総線新守谷下車徒歩25分

病院見学対応状況

■見学時間…随時（平日）
■対象…５～６年生
■宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
■問い合わせ先
担当者：事務部　駒田
TEL：0297-45-5111
E-mail：komada@moriya.daiichi.or.jp

育児支援等

当院は敷地内に24時間体制の院内保育園を併設しており、０歳児から受け入れてくれています。保育園の方針として、母乳保育を推進しており、診療時間を調節して授乳時間を確保しながら仕事を続けたママさん医師もいました。研修期間を長期に延長することなく、復帰することも可能ですし、育休をしっかり確保した上で、短時間勤務での復職も可能です。

子育てしながらの先輩医師も復帰しておりますので、子育ての悩みも相談しやすいと思います。

研修プログラムの特色

1．地域密着型の中規模病院であり、プライマリ・ケアから二次（一部は三次）救急にわたる幅広い研修ができます。
2．総合病院であり、周産期・小児医療を含む幅広い診療科が院内で研修可能です。
3．協力型臨床研修病院である筑波大学附属病院との「たすきがけ研修」など柔軟な研修コースの設定が可能です。

研修スケジュール例

※　必修科目を優先する場合

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内　科						外　科・救急医療			必修選択科目		
2年次	地域	選択科目（当院または協力型臨床研修病院）										

※　将来専門としたい診療科を優先する場合

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	将来の診療科選択			外　科・救急医療			内　科・救急医療					
2年次	必修選択科目			地域	選択科目（当院または協力型臨床研修病院）							

ローテーションについては、指導医と面談を行いながら、柔軟なコース設定が可能です。
１年次は、内科・外科をローテーションして、プライマリ・ケアの診療能力（態度・技術・知識）の習得を行いつつ、各科の指導医とともに救急外来を担当します。
また、心電図、画像診断についての勉強会で診断能力の向上を図ります。
２年次は、１年次の終了前に指導医と面談、アドバイスをもとに選択科を中心のローテーションを行います。
＊院　　内：内科（消化器・循環器・呼吸器）・外科・小児科・産婦人科・整形外科・脳外科・泌尿器科・麻酔科・皮膚科・眼科・地域医療
＊協力病院：水海道厚生病院（精神科）、筑波大学附属病院（各科）、筑波メディカルセンター病院（救急部門）
＊公衆衛生：竜ケ崎保健所

専門研修の募集について

専門研修については筑波大学附属病院等の連携施設としてプログラムに参加しています。

研修・認定施設一覧

- 日本医療機能評価機構による病院機能評価認定病院
- ISO9001:認定病院
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本外科学会外科専門医制度研修関連施設
- 日本産婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- 日本脳神経外科学会専門医訓練施設
- 日本整形外科専門医研修施設
- 麻酔科認定病院
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本消化器病学会関連施設
- 日本呼吸器学会関連施設
- 日本乳癌学会関連施設

病院からメッセージ



院長
遠藤　優枝

当院は、県内でも有数の人口流入地域である守谷市で総合病院として、地域医療の中核を担っています。199 床と中規模病院ではありますが、産婦人科・小児科診療から訪問診療に到る幅広い診療を行うと共に、救急医療にも力を注いでおり、脳血管疾患の急性期医療も対応可能な診療体制を整えております。当院での研修では、診断のついた患者さんをマニュアルに沿って治療するような診療ではなく、いろいろな背景を持った患者さんを診断するところから、日常生活へ戻すまでの診療を体験することができます。自ら考え、勉強し、指導医を含めた多職種の医療者とチーム医療を行うことで、医師としての基本的姿勢やコミュニケーション能力を磨いていただければと思います。



研修責任者
田口　真人

当院は、地域の中規模総合病院ならではの幅広い症例と手技経験が得られる点が大きな魅力です。内科・救急・外科・小児・産婦人科など多領域をバランス良くローテーションでき、common disease から救急までの臨床能力を総合的に身に付けることができます。指導医が各科にそろい、少人数で丁寧な指導が受けられるほか、希望に応じて協力病院との連携で多彩な研修プログラムを組むことも可能です。また、ワークライフバランスにも配慮し、有給取得率が高く、休みがとりやすい環境です。一人一人にあった研修を病院全体で支援していきます。



19 龍ケ崎済生会病院

病院の概要

開設	2001年11月
開設者	恩賜財団済生会支部茨城県済生会
院長名	海老原　次男
病床数	204床（ICU4床）
標榜科（22科）	内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、内分泌・代謝内科、脳神経内科、リウマチ科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、心臓血管外科、形成外科、リハビリテーション科、麻酔科、放射線科
医師数	42人（常勤）
指導医数	22人
研修医数	3人（協力型含む）
外来患者数	370.2人／日
入院患者数	148.7人／日
時間外・休日労働時間上限の適用水準	A水準（2026年4月現在）



応募・問合せ先

龍ケ崎済生会病院

〒301-0854　茨城県龍ケ崎市中里1丁目1番
担当者：人事課　須藤・関口
ＴＥＬ：０２９７－６３－７１１１
ＦＡＸ：０２９７－６３－７１６３
E-mail：web_master@ryugasaki-hp.org
ＵＲＬ：http://www.ryugasaki-hp.org

募集要項

応募資格	2027年3月国家試験合格見込み者
採用人数	2名（予定）
試験日程	2026年8月頃
選考方法	面接、小論文
処遇	■身　　分：常勤（研修医） ■給　　与：1年次：306,130円 2年次：314,930円 賞　　与：年2回（6.12月） ■社会保険：有 ■宿　　舎：有 ■その他：通勤手当（上限月額55,000円） 住宅手当（上限月額27,000円） 扶養手当・時間外手当・当直手当　他



■JR常磐線　龍ケ崎市駅
関東鉄道バス白羽1丁目行き　済生会病院下車　約20分
■常磐自動車道つくばJCTより圏央道（首都圏中央連絡自動車道）
牛久阿見ICより約25分

病院見学対応状況

■見学時間…随時（月～金）
■対象…全学年
■宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
■問い合わせ先
担当者：人事課　須藤・関口
TEL：0297-63-7111
E-mail：web_master@ryugasaki-hp.org

育児支援等

■敷地内保育所完備（休日・夜間・病児保育あり）
■育児短時間勤務
■育児のための所定外労働の免除
■育児のための時間外労働・深夜業の制限
■子の看護休暇
■ファミリーサポート休暇　他



研修プログラムの特色

●地域の基幹病院、稲敷地区の救急受け入れのゲートとしてプライマリケアの習得に必要な豊富な症例の経験が可能です。
●済生会グループであることを活かし、水戸済生会総合病院や神栖済生会病院、常陸大宮済生会病院、茨城県立こども病院などとの連携・研修が可能です。また、同じく済生会グループの特別養護老人ホーム龍ケ岡や当院付属の総合健診センターが隣接しており、急性期のみならず幅広い臨床研修が可能です。

研修スケジュール例

1年次	内　科（24週）		外科（8週）	救急（12週）	小児科（8週）
2年次	産婦人科（8週）	選　択　科　目（32週）		精神科（4週）	地域医療（8週）

【協力型病院】
筑波大学附属病院、水戸済生会総合病院、神栖済生会病院、茨城県立こども病院、みやざきホスピタル
【協力施設】
常陸大宮済生会病院、いしかわクリニック、特別養護老人ホーム龍ケ岡、竜ケ崎保健所

専門研修の募集について

独自のプログラムはありませんが、筑波大学附属病院などの連携施設として引き続き当院での研修が可能です。

研修・認定施設一覧

・日本内科学会認定医制度教育関連病院
・日本外科学会専門医制度関連施設
・日本消化器外科学会専門医制度修練施設
・日本循環器学会専門医制度研修関連施設
・日本整形外科学会専門医制度研修施設
・日本眼科学会専門医制度研修施設
・日本泌尿器科学会専門医教育施設
・日本呼吸器学会専門医制度認定施設
・日本神経学会専門医制度准教育施設
・日本消化器病学会専門医制度認定施設
・日本呼吸器内視鏡学会専門医制度関連認定施設
・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
・日本認知症学会専門医制度教育施設
・日本麻酔科学会麻酔科標榜のための研修施設
・日本がん治療認定医機構認定研修施設
・日本緩和医療学会認定研修施設
・日本栄養療法推進協議会NST稼働施設
・日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
・日本人間ドック学会専門医制度認定研修施設

病院からメッセージ



プログラム責任者
古庄　健太郎

様々な経験を積んで知識や手技を身につけたい、と多くの研修医が希望していると思います。当院は茨城県南で最も南東に位置している二次救急病院であり、利根川沿いの稲敷地域の救急医療を担っています。また地域医療支援病院としてかかりつけ医との連携を重視しています。
実際の臨床では複数の疾患を同時に抱えていたり、疾患のみでなく認知機能低下や生活環境、経済的問題などを含めて患者さんの包括的なサポートが必要です。204床と病院規模は小ぶりですが、顔が見える関係により診療科の壁は低く、スタッフの協力も得やすく、小回りがきいて働きやすい環境で、個々の希望に応じた経験を積むことが可能です。ぜひ一緒に働きましょう。



研修医
梅沢　貴介

当院は臨床研修医を受け入れ開始後間もないため、研修医の人数は少ないですが、その分指導医の先生方から手厚い指導を受けることができます。
意欲次第で手技の経験も多く積むことが可能です。近隣の筑波大学からの短期研修も受け入れているため、研修医同士の交流もできます。
研修医室も完備されており、過ごしやすいです。またスタッフの皆さんも優しい方が多く、医師以外の職種の方々ともコミュニケーションが取りやすい環境です。
病院自体は駅から少し距離がありますが、東京との電車アクセスも良好です。
ぜひ一度見学にいらしてください！



20 友愛記念病院

病院の概要

開設	1981年1月
開設者	茨城県民生活協同組合
院長名	加藤　奨一
病床数	301床
標榜科（30科）	内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、糖尿病内科、肝臓内科、外科、消化器外科、呼吸器外科、整形外科、乳腺外科、甲状腺外科、脳神経外科、肛門外科、血管外科、心臓血管外科、小児外科、形成外科、泌尿器科、眼科、小児科、皮膚科、婦人科、病理診断科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、麻酔科、リハビリテーション科
医師数	56人
指導医数	23人
研修医数	11人
研修医の主な出身大学	筑波大学、産業医科大学、東北大学、群馬大学、福井大学
外来患者数	515人／日
入院患者数	169人／日
時間外・休日労働時間上限の適用水準	A水準（2026年4月現在）



募集要項

応募資格	2027年３月国家試験合格見込者
採用人数	5名（予定）
試験日程	2026年7～8月頃
選考方法	面接
処遇	■身　分：正職員 ■給　与：1年次基本給40万円 その他諸手当等を含む年収約540万円 2年次基本給50万円 その他諸手当等を含む年収約660万円 ■社会保険：全国健康保険協会・雇用保険・厚生年金保険・労災保険 ■宿　舎：有り（女性専用寮） ■そ の 他：住宅補助／病院借上アパート賃料分月50000円限度 引越し費用負担、当直手当、日直手当 ■休　日：土曜、日曜、祝日 夏季休暇5日、年末年始12/29～1/3 年次有給休暇10日（1年次）、11日（2年次）

応募・問合せ先

友愛記念病院

〒306-0232　茨城県古河市東牛谷７０７
担当者：臨床研修担当　岡田 真実
ＴＥＬ：０２８０－９７－３０００
ＦＡＸ：０２８０－９７－３００１
E-mail：mokada@yuai-hosp-jp.org
ＵＲＬ：https://www.yuai-hosp-jp.org/recruit/intern.php



東京・新宿より約60分
■ＪＲ東北本線（宇都宮線）　古河駅下車
東口より茨城急行バス『友愛記念病院行き』で約15分
■国道4号バイパス・東京方面から125号線交差点左折4.5ｋｍ

病院見学対応状況

■見学時間…随時（平日）
■対象…全学年
■宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
■問い合わせ先
担当者：臨床研修担当　岡田 真実
TEL：0280-97-3000
E-mail：mokada@yuai-hosp-jp.org

育児支援等

妊娠・出産・育児のための支援制度等

■育児短時間制度
■院内保育所の設置
■産前産後休暇、育児休業
■当直免除
■結婚休暇（連続7日間）

研修プログラムの特色

・地域の中枢病院で、幅広い分野のプライマリ・ケアを経験できる。また、地域がん診療連携拠点病院として、がんの予防・早期発見・内視鏡的手術・化学療法・照射線治療・緩和ケアまでトータルのがん治療を経験できる。
・「いばらき夢チャレンジ臨床研修病院群プロジェクト」に参加しており、2年次の選択枠ではプロジェクトに参加する基幹病院での研修も可能。

研修スケジュール例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						外科		小児科	麻酔科	救急科	
2年次	産婦人科	精神科	地域医療		選択科							

・必修（院内）：内科、外科、小児科、救急科　（協力病院）：地域医療、産婦人科、精神科
※救急科は他科選択中に当直勤務（半年間で1回/1.5週程度）することでも可能
・自由選択枠（院内）：内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、外科、消化器外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、緩和ケア科、小児科、放射線診断科、痛理診断科
・自由選択枠（協力病院）：腎臓内科、膠原病内科、神経内科、救急科、産婦人科、精神科、放射線診断科
※自由選択科の研修科数、組み合わせ、期間は希望により設定可能
※いばらき夢チャレンジ参加病院　茨城西南医療センター病院（境町）　ＪＡとりで総合医療センター（取手市）
霞ヶ浦医療センター（土浦市）　友愛記念病院（古河市）

研修・認定施設一覧

・日本外科学会専門医制度指定認定施設
・日本消化器外科学会専門医制度指定関連施設
・日本消化器病学会専門医制度指定関連施設
・日本消化管学会胃腸科指導施設
・日本消化器内視鏡学会指導施設
・日本大腸肛門病学会認定施設
・日本がん治療認定医機構認定研修施設
・日本眼科学会専門医制度研修認定施設
・日本整形外科学会研修施設
・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
・日本麻酔科学会研修認定施設
・日本脈管学会認定研修関連施設
・日本乳癌学会認定施設
・日本救急医学会救急科専門医指定施設
・日本病理学会研修登録施設
・日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士認定規定認定教育施設
・日本心血管インターベンション学会認定研修施設群連携施設
・日本放射線腫瘍学会認定施設
・日本呼吸器外科学会専門医関連施設
・日本呼吸器内視鏡学会専門医認定施設

病院からメッセージ



プログラム責任者
中村　浩志

当院の自慢は、指導医の先生との距離が近く、フランクに話ができる風通しの良さにあります。日々の業務でのコミュニケーションはもちろん、定期的に開かれる交流会もあり、親睦を深める機会が多く設けられています。業務に関するざっくばらんな意見を交換したり、プライベートな話題で盛り上がったりと、和気あいあいとした雰囲気の中で自然とチームワークが育まれています。そんな当院を一緒に盛り上げてくれる研修医の先生方を募集しています。



研修医
渡辺　邦明

当院は、消化器・循環器・呼吸器を中心とした救急疾患に強く、市中病院ならではの多彩な症例を経験できることが大きな特徴です。がん拠点病院として緩和ケア科のローテーションも可能で、急性期から終末期まで幅広い医療を学べます。また、地域医療研修として石垣島で1か月の研修を行える点も魅力です。院内の雰囲気はのびのびとしていますが、指導医の先生方は熱心に教えてくださり、実際に手を動かしながら着実にスキルを身につけられる環境が整っています。将来の医師像を考える上で、多くの学びを得られるはずです。ぜひ気軽に病院見学にいらっしゃってください。病院の雰囲気を感じてもらえたら、研修医として働くイメージもきっと見えてくると思います。お待ちしております！



21

筑波大学附属病院　古河・坂東地域医療教育センター

茨城西南医療センター病院

病院の概要

開設	1946年３月
開設者	茨城県厚生農業協同組合連合会
院長名	上杉　雅文
病床数	358床
標榜科（28科）	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、リウマチ・膠原病内科、神経内科、外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、乳腺外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、小児科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、病理診断科
医師数	74人（研修医除く）
指導医数	27人
研修医数	16人
研修医の主な出身大学	筑波大学、北里大学、東京科学大学、国際医療福祉大学、東邦大学、杏林大学、長崎大学　他
外来患者数	735人／日
入院患者数	263人／日
時間外・休日労働時間上限の適用水準	A水準、B水準（2026年4月現在） ※臨床研修医はA水準（年間960時間上限）となります



応募・問合せ先

筑波大学附属病院　古河・坂東地域医療教育センター
茨城西南医療センター病院
〒306-0433　茨城県猿島郡境町2190
担当者：秘書室 長谷川・間瀬、庶務課 成島
ＴＥＬ：０２８０－８７－８１１１（内線2421）
ＦＡＸ：０２８０－８６－７７０２
E-mail：shomuka@seinan-mch.or.jp
ＵＲＬ：https://www.seinan-mch.or.jp



■ＪＲ宇都宮線の場合
古河駅西口より境車庫行きバス［西南医療センター病院入口］下車、徒歩3分
■東武伊勢崎線の場合
東武動物公園駅より境車庫行きバス［西南医療センター病院入口］下車、徒歩3分
■圏央道　境古河 ICより約 5分

募集要項

応募資格	2027年３月国家試験合格見込者
採用人数	8名（予定）
試験日程	2026年８月（予定）
選考方法	面接
処遇	■身　　分：常勤職員 ■給　　与：1年次基本給30万円 その他諸手当等を含む年収約480万円 （時間外勤務手当等は別途支給） 2年次基本給35万円 その他諸手当等を含む年収約650万円 （時間外勤務手当等は別途支給） ■社会保険：有り ■宿　　舎：単身用有り ■そ の 他：公的年金有り、労働災害保険有り

病院見学対応状況

■見学時間…随時（平日）
■対象…全学年
■宿泊…可能（無料）
研修医の宿舎に宿泊可能（要確認）
■問い合わせ先
担当者：秘書室 長谷川・間瀬
TEL：0280-87-8111（内線2423）
E-mail：kensyu-hisho@seinan-mch.or.jp

育児支援等

■院内保育所の設置
（0歳児から小学校就学前の児童対象）
（毎週月・木は24時間保育）
■病児保育シッター補助
（生後3ヶ月から小学生までの児童対象）
■妊娠中、育児中の当直勤務免除
■育児短時間勤務可能


保育所

研修プログラムの特色

全ての科目において、幅広い医学、臨床の基本的知識、技能、姿勢を習得可能です。なかでも救命救急センターは三次救急のほか、一次、二次救急も対象としているため、早期よりプライマリ・ケアの基本的診療が可能です。更に第一線の中核病院として、地域医療を支えている小児科や産婦人科でのアクティブな研修も可能です。

筑波大学附属病院、水戸協同病院を協力型臨床研修病院としており同院での研修も可能なほか、当院、ＪＡとりで総合医療センター、友愛記念病院、霞ヶ浦医療センターの４病院で「いばらき夢チャレンジ臨床研修病院群プロジェクト」を構成しており、各病院の得意分野を生かしながら相互に研修を受けられる教育プログラムを構築しています。

研修スケジュール例

１年次	内　　科（24週）			外科（8週）	救急（12週）	自由選択（8週）
２年次	小児科（8週）	産婦人科（8週）	精神科（4週）	地域医療（4週）	自　由　選　択（28週）	

院内もしくは院外において研修することができます。
筑波大学附属病院、水戸協同病院の他に「いばらき夢チャレンジ臨床研修病院群プロジェクト」に参加する下記の病院での研修が可能です。
【参加病院】●ＪＡとりで総合医療センター（取手市）　●友愛記念病院（古河市）　●霞ヶ浦医療センター（土浦市）　●茨城西南医療センター病院（当院）
地域医療：県北医療センター高萩協同病院、茨城西南医療センター病院附属八千代診療所、精神科：ホスピタル坂東

研修・認定施設一覧

・日本内科学会教育関連病院
・日本腎臓学会研修施設
・日本透析医学会教育関連施設
・日本外科学会認定医制度修練施設
・日本外科学会外科専門医制度修練施設
・日本呼吸器外科学会指導医制度関連施設
・日本呼吸器外科学会関連施設
・日本呼吸器学会認定施設
・日本脳神経外科学会専門医制度訓練施設
・日本救急医学会救急科専門医指定施設
・日本臨床細胞学会施設認定制度認定施設
・日本脳卒中学会研修教育病院認定施設
・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
・日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設
・日本心血管インターベンション学会認定研修関連施設
・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構関連施設
・日本胸部外科学会関連施設
・日本整形外科学会専門医研修施設
・日本眼科学会専門医制度研修認定施設
・日本産婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
・日本周産期・新生児医学会専門医制度研修施設（補完施設）
・日本小児科学会小児科専門医制度専門医研修施設
・日本乳癌学会関連施設
・日本静脈経腸栄養学会NST稼動施設
・日本がん治療認定機構認定研修施設　　ほか

病院からメッセージ



研修責任者
上野　友之

当院は救命救急センター（年間受診者数約14,000人、年間救急車搬送数約4,000件）を擁し、一次から三次救急まで多数かつ多様な症例を診療しています。第一線の地域中核病院として、各科が連携協力して、専門性の高い医療を提供し、医師不足の地域にあって最後の砦として地域医療を支えています。

臨床研修の２年間は、最前線に立って積極的に幅広い症例と出会い、責任をもって考え、好奇心をもって知識と技術を会得していくことが重要です。当院には一つのチームとして上級医、コメディカルスタッフが支え、臨床研修医の仲間で励まし合い、切磋琢磨する環境があります。みなさんのステップアップが地域医療のレベルアップにつながっていきます。それぞれの最高の成長曲線が描けるよう、全力で支援します。



研修医
日南　湧哉

当院は茨城県西部に位置する三次救急病院です。周囲に同規模病院もなく、他県からも軽症から重症まで多岐にわたる症例の患者さんが受診されます。研修医はファーストタッチを主に担当することができ、数多くの手技を経験することができます。そして、当院では、必ず上級医の先生方がついてくださり、事故のないように安心して診療に臨むことができます。また、その際に多くのフィードバックをしていただき、医師として必要な基礎をたたき込むことができるような病院となっています。当院は、研修先の病院として申し分のない病院となっておりますので、ぜひ、見学に来てみてはいかがでしょうか。心よりお待ちしております。

茨城県地域医療支援センター

～無限の可能性に向けて～

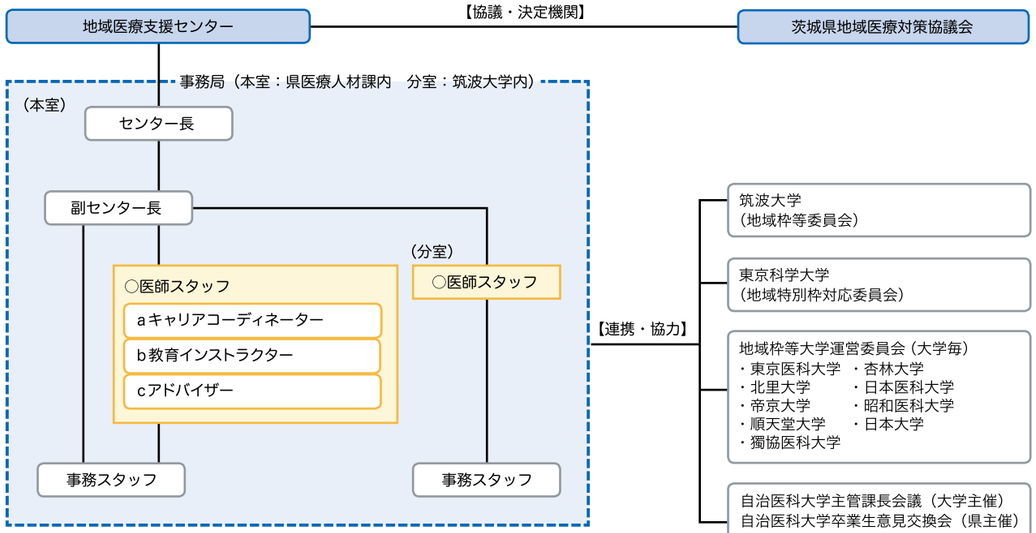
茨城県では、若手医師の皆さんが、県内の医療機関で充実した勤務をしながら自分の希望に応じたキャリアアップが図れるよう、2012年４月から若手医師の皆さんをサポートする「茨城県地域医療支援センター」を設置しています。

地域医療支援センターでは、地域医療のために必要な手技から最先端の高度医療まで、若いうちに学ぶべき知識や経験を得ることができるよう、県内の医療機関や県医師会、筑波大学をはじめとした医科大学が一体となって、若手医師の皆さんを支援していきます。

茨城県地域医療支援センターの組織・スタッフ体制

全県一丸となって若手医師をサポートします。

地域医療支援センター組織図



※各事業の日程については、決定次第、地域医療支援センターホームページに随時掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

イバラキドクターズライフ
（茨城県地域医療支援センターホームページ）
https://ibaraki-dl.jp



茨城県地域医療支援センターの主な取り組み

○ 修学生医師等のキャリア形成支援

キャリアコーディネーターとの個別面談や情報提供を通じた、専門医・認定医資格の取得支援等

○ 医師不足地域の病院等への医師派遣業務

医師確保計画に基づく県内医師の配置調整

○ 医学生・医師のキャリアアップ支援

各種セミナー、研修会の開催


病院見学の様子


地域医療研修会の様子


修学生の集いの様子

○ 総合相談窓口の設置と情報発信

総合相談窓口の設置及び全国の医師や医学生に対する本県での勤務の魅力を伝える情報の発信

○ 指導医の養成と研修体制の整備

指導医の養成支援、地域医療に従事するために必要な技術習得のための研修会等

○ 地域医療関係者との意見調整

県内医療関係者が一体となって取り組むための意見調整

茨城県地域医療支援センターの主な医師向けキャリア形成支援制度①

海外派遣事業

県内で勤務する医師の能力向上のため、海外の医療現場に一定期間派遣します。
なお、派遣期間中の経費は県が負担します。

指導医団国外派遣事業

【内　容】指導医の指導能力向上のため、世界標準の先進的な指導及び教育に取り組んでいる米国（ハワイ）へ派遣します。
【期　間】１週間程度

グローバル人材育成プログラム

【内　容】優秀な若手医師を育成し、地域医療水準の高度化を図るため、欧米等の医療現場へ派遣します。
【期　間】１ヶ月～2年間



茨城県地域医療支援センターの主な医師向けキャリア形成支援制度②

教育回診事業

指導体制の充実を図るため、著名な講師が県内の医療機関を巡回し、実際の症例をもとにしたケースカンファレンスやベッドサイドでの教育研修を実施しています。2025年度は6日間にわたり、15医療機関で開催しました。







○講師プロフィール

群星沖縄臨床研修センター長 **徳田　安春 先生**

沖縄県立中部病院総合内科、聖路加国際病院／聖ルカ・ライフサイエンス研究所、筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター、水戸協同病院総合診療科、地域医療機能推進機構（JCHO）本部顧問を経て、2017年4月より現職。2018年12月から、いばらき医療大使。

救急ライセンス研修

茨城県内の研修医を対象とする、日本ACLS協会のAHA（アメリカ心臓協会）公認プログラムによる救命処置研修を実施しています。





エコーハンズオントレーニング

超音波装置の安全な使用法・ハンズオン・疾患別のエコー所見等を、少人数制で医師及び技師の方から直接ご指導いただける研修会を実施しています。



JMECC講習会

緊急を要する急病患者に対応できるよう、日本内科学会が各ガイドラインに基づいて推奨している救急蘇生講習会を実施しています。

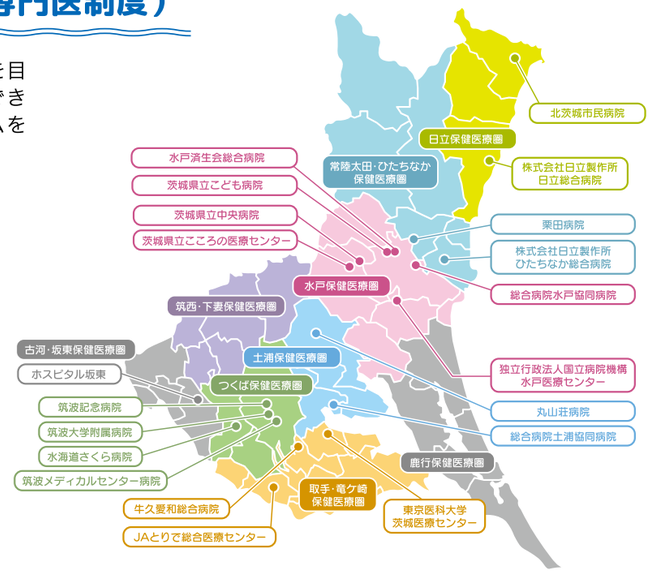
専門医を目指す方へ（新専門医制度）

茨城県では、臨床研修を修了し、専門医を目指す方が県内で充実した専門研修を実施できるよう、各基幹施設が専門研修プログラムを用意しています。
専門医資格の取得は、ぜひ茨城県内で！

＜茨城県で専門研修を受けるメリット＞

- ●基本診療科19領域全ての専門医資格を取得できます！
- ○基幹施設計20病院が、県内外の病院と連携しており、県内外の病院で様々な研修を受けることができます！
- ○毎年150名程度の専攻医が採用されており、指導医や先輩医師から手厚いサポートを受けられます！

［専門研修プログラム基幹施設位置図］



各領域の状況（2026年度研修開始）

●：基幹施設　○：連携施設（他の基幹施設と連携）

病院名／領域	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理診断科	臨床検査科	救急科	形成外科	リハビリテーション科	総合診療科
総合病院水戸協同病院	●		○		○	●		○	○		○		○	○		○	○	○	○
水戸済生会総合病院	●	○	○		○	○	○	○		○	○		○	○		○	○		
独立行政法人国立病院機構 水戸医療センター	●		○	○	●	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○		
茨城県立中央病院	●	○	○		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
株式会社日立製作所 日立総合病院	●	○	○		●	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○
株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院	●	○	○		○	○			○	○		○	○	○		○		○	○
総合病院土浦協同病院	●	●	○		●	●	●	○	○	○	●	○	○	○		●	○	○	
筑波記念病院	●				●	○	○	○	○		○	○	●	○		●	○	●	○
筑波大学附属病院	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
筑波メディカルセンター病院	●	○			○	○	○			○	○	○	○	○	○	●			●
東京医科大学茨城医療センター	●	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○		○	○	○	●
JAとりで総合医療センター	●	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	
牛久愛和総合病院	●		○		○	○		○			○	○		○		○	○		
茨城県立こども病院		●			○	○					○		○	○					○
茨城県立こころの医療センター				●															○
栗田病院				●															
丸山荘病院				●															
ホスピタル坂東	○			●															
北茨城市民病院	○				○			○											●
水海道さくら病院																			●